

## 平成27年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会公園部会議事録

1 日時：平成27年5月28日（木） 午後1時30分～午後4時59分

2 場所：千葉市役所議事堂棟3階 「第4委員会室」

3 出席者：

(1) 委員

石井 慎一委員（部会長）、木下 剛委員（副部会長）、大谷 益世委員

(2) 事務局

(都市局)

小早川都市局次長

(公園緑地部)

山下部長

(都市総務課)

増田都市局参事兼課長、村上課長補佐、西森主査、中野主任主事

(公園管理課)

竹本課長、中臺主査、猿田主任技師、叶主任主事

4 議題：

- (1) 稲毛海浜公園花の美術館（三陽メディアフラワーミュージアム）の年度評価について
- (2) 稲毛海浜公園教養施設（稲毛記念館、海星庵、野外音楽堂、稲毛民間航空記念館）の年度評価について
- (3) 都市緑化植物園みどりの相談所の年度評価について
- (4) 亥鼻公園集会所の年度評価について
- (5) 稲毛海浜公園花の美術館（三陽メディアフラワーミュージアム）の総合評価について
- (6) 稲毛海浜公園教養施設（稲毛記念館、海星庵、野外音楽堂、稲毛民間航空記念館）の総合評価について
- (7) 都市緑化植物園みどりの相談所の総合評価について
- (8) 亥鼻公園集会所の総合評価について

5 議事の概要：

平成26年度指定管理者評価シート、平成26年度事業計画書、平成26年度事業報告書及び指定管理者財務諸表をもとに、都市局指定管理者選定評価委員会による評価を受け、当該指定管理者による施設管理運営のサービス水準の向上、業務効率化の方策、改善を要する点及び当該指定管理者の倒産、撤退等のリスクの把握について、都市局指定管理者選定評価委員会から意見を聴取した。

また、指定管理者総合評価シート及び指定管理者総合評価資料をもとに、都市局指定管理者選定評価委員会から現指定管理者の管理業務及び次期指定管理者の選定に向けた意見を聴取した。

- (1) 稲毛海浜公園花の美術館（三陽メディアフラワーミュージアム）の年度評価について  
ア 指定管理者 公益財団法人千葉市みどりの協会  
イ 部会の意見

- (ア) 利用者数の漸減に対し、ソフト面での工夫が行われていると認められるが、引き続き新たな魅力あるイベントの実施などを検討していくこと。
  - (イ) 施設職員とボランティアの連携体制を構築し、サービスの向上を図ること。
  - (ウ) 稲毛海浜公園を訪れた人を花の美術館に呼び込むための方策を検討すること。
- (2) 稲毛海浜公園教養施設（稲毛記念館、海星庵、野外音楽堂、稲毛民間航空記念館）の年度評価について
- ア 指定管理者 公益財団法人千葉市みどりの協会
  - イ 部会の意見
    - (ア) 講習室内に展示物があることが理解されていないため、案内を分かりやすくすること。
    - (イ) 子供向けからマニア向けまで多様なイベントを検討してもらいたい。
    - (ウ) 引き続きイベントとプロモーション活動を充実させていくこと。
- (3) 都市緑化植物園みどりの相談所の年度評価について
- ア 指定管理者 公益財団法人千葉市みどりの協会
  - イ 部会の意見
    - (ア) 利用者数が増加していることに加え、自主事業も充実しており、いろいろな面で努力していることが認められる。
    - (イ) 利用者数が増加した理由を把握し、今後に活かしていくこと。
    - (ウ) 樹木の専門家やボランティア団体との関係も良好であると認められるため、今後より良い運営を期待する。
    - (エ) ボランティアによる活動が持続できるよう後継者の育成にも配慮していくこと。
- (4) 亥鼻公園集会所の年度評価について
- ア 指定管理者 株式会社塚原緑地研究所
  - イ 部会の意見
    - (ア) 全般的には良好な管理運営が行われていると認められる。
    - (イ) PRに力を入れているとは認められるが、認知度は低いままであるため、引き続きPR活動を行っていくことが必要である。
    - (ウ) 亥鼻公園周辺が掲載されたパンフレットの作成など、近隣施設との連携を検討すること。
- (5) 稲毛海浜公園花の美術館（三陽メディアフラワーミュージアム）の総合評価について
- ア 指定管理者 公益財団法人千葉市みどりの協会
  - イ 部会の意見
    - (ア) 美術館の名称にふさわしい、花や緑に関するアート作品を展示するイベントなどがあると良い。
    - (イ) 利用者数の増加を図るため、マンネリを打破するための方策等の提案を求めること。
- (6) 稲毛海浜公園教養施設（稲毛記念館、海星庵、野外音楽堂、稲毛民間航空記念館）の総合評価について
- ア 指定管理者 公益財団法人千葉市みどりの協会

イ 部会の意見

(ア) 4施設一体としてのイメージやコンセプトの下で各施設のマネジメントを行うことが必要である。

(イ) 市における今後の稲毛海浜公園の見直し内容を踏まえ、花の美術館も含めた一体的な視点での維持管理、PRを検討すること。

(7) 都市緑化植物園みどりの相談所の総合評価について

ア 指定管理者 公益財団法人千葉市みどりの協会

イ 部会の意見

(ア) 次期指定管理期間においてもボランティア団体との良好な関係が維持できるよう配慮すること。

(イ) 現指定管理者の良いサービスを継続していけるよう配慮すること。

(8) 亥鼻公園集会所の総合評価について

ア 指定管理者 株式会社塚原緑地研究所

イ 部会の意見

(ア) 良好な維持管理が行われていると認められるため、次期指定管理期間においてもより良いサービスが実施されるよう適切な指導を行っていくこと。

(イ) 指定管理期間の切り替えに伴い利用者の利便性が損なわれないよう配慮すること。

## 6 会議経過：

○村上都市総務課長補佐 委員の皆様におかれましては、お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまより平成27年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会公園部会を開催させていただきます。

申し遅れましたが、私は、都市総務課課長補佐の村上と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、3名全ての委員の皆様にご出席いただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項の規定により、本会議は成立しておりますことをご報告いたします。

初めに、開会にあたりまして、小早川都市局次長からご挨拶申し上げます。

○小早川都市局次長 都市局次長の小早川でございます。

本日は、委員の皆様におかれましては、大変お忙しいところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

また、日頃から、本市の都市行政をはじめ、市政各般にわたりまして、多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、都市局では、稲毛海浜公園花の美術館など、39の有料施設の管理運営にあたりまして、市民サービスの向上と管理経費の節減を図るため、指定管理者制度を導入しております。

指定管理者制度では、各年度の終了後に、次年度以降の管理運営を、より適正に行うために、年度評価を実施し、最終年度におきましては、各年度において実施した年度評価を踏まえた「現指定管理者の管理業務の総括のための評価」を行うとともに、次期指定管理者の選定に向けた総合評価を行い、適切な管理運営に努めております。

本日の公園部会では、年度評価といたしまして、全7施設について、指定管理者評価シートをもとに、平成26年度の管理・運営状況について、部会としてのご意見をいただく予

定でございます。

また、これらの施設につきましては、指定期間の最終年度となりますので、総合的な評価を合わせて実施させていただきますので、委員の皆様には、それぞれのお立場から、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

なお、公募により指定管理者を選定いたします亥鼻公園集会所と都市緑化植物園みどりの相談所に関する部会を7月と10月に、非公募により選定いたします稲毛海浜公園教養施設と花の美術館に関する部会を10月に、それぞれ予定しております。

部会の回数が例年より多くなってしまうので、委員の皆様にはご負担をおかけすることになってしまいますが、ご協力の程よろしく願いいたします。

以上、簡単ではございますが、冒頭のご挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

○村上都市総務課長補佐 小早川都市局次長につきましては、本日所用がございますため、これをもちまして退席とさせていただきます。

○小早川都市局次長 よろしく願いいたします。失礼いたします。

(都市局次長退席)

○村上都市総務課長補佐 それでは、議事に入る前に、会議の公開及び議事録の作成についてご説明いたします。

お手元の資料3「千葉市都市局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」をごらんください。

本日の会議は、「1 会議の公開の取扱い」の(1)のとおり公開としております。

また、議事録につきましては、「2 議事録の確定」の(1)及び「3部会の会議への準用」のとおり、事務局が作成した案に対する部会長の承認により確定することとなっております。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

石井部会長、よろしく願いいたします。

○石井部会長 石井でございます。それでは、私が議事進行をさせていただきます。

会議を円滑に進めて参りたいと存じますので、よろしく願いいたします。

まず初めに、議題(1)「稲毛海浜公園花の美術館(三陽メディアフラワーミュージアム)の年度評価」に入ります。

初めに、資料6-1「平成26年度指定管理者評価シート」「1 基本情報」から「4 指定管理者による自己評価」について、事務局よりご報告をお願いいたします。

○竹本公園管理課長 公園管理課長の竹本でございます。よろしく願いします。

それでは、座って説明させていただきます。

それでは、平成26年度指定管理者評価シートの内容についてご説明申し上げます。

「1 基本情報」。

施設名、稲毛海浜公園花の美術館。

指定管理者、公益財団法人千葉市みどりの協会。

指定期間、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間です。

所管課につきましては、都市局公園緑地部公園管理課。

「2 管理運営の実績」ですが、(1)主な実施事業。

①指定管理事業といたしまして、施設運営業務、維持管理業務、みどりの相談業務を実施いたしました。詳細についてはご覧のとおりです。

②自主事業といたしまして、広報啓発事業、講習会事業、ボランティア事業を実施いたしました。詳細はご覧のとおりでございます。

2 ページ目をお願いいたします。

(2) 利用状況。

①利用者数ですが、表の上段が有料利用者数のみでございます。平成26年度実績が3万9,539人、前年度比91.9%、下段につきましては無料利用者を含んだものでございますが、こちらは8万4,056人、前年度比91.5%です。

②稼働率でございます。これは、施設内の花工房の稼働率ですが、37.2%でございました。対前年度比はマイナス6.8%でございます。

(3) 収支状況です。

①収入実績ですが、まず、指定管理委託料が1億8,425万円、計画比100%です。利用料金ですが、1,151万6,000円、計画比は41.4%、自主事業が1,091万9,000円、計画比が159.7%、その他といたしまして146万5,000円、計画比が73.3%。合計としまして2億815万円、計画比が94.2%です。

利用料金収入につきましては、有料利用者数が計画を下回ったため、かなり減少してございます。自主事業収入につきましては、これは主に自主財源の投入による増加でございます。その他としましては、フラワーカレッジの材料費でございます。

②支出実績ですが、人件費7,353万6,000円、計画比が91.7%。事務費4,273万3,000円、計画比が103.3%、管理費が8,569万1,000円、計画比が92.4%、自主事業が1,091万9,000円、計画比が159.7%。合計で2億1,287万9,000円、計画比が96.3%でございます。

自主事業費の増は、計画を上回る事業の実施に伴う人件費の増加となっております。

③収支実績ですが、472万9,000円の赤字となっております。

次のページ、3 ページをお願いいたします。

(4) 指定管理者が行った処分の件数、(5) 市への審査請求、(6) 情報公開の状況につきましては、ご覧のとおりでございます。

続きまして、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」です。

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果。

①アンケート調査の実施内容ですが、これは、毎月、アンケート調査を実施いたしました。回答者数は、全部で1,427件でございます。

②調査の結果ですが、回答者の属性としまして、一般利用者が550件、それからフラワーカレッジの参加者が877件となっております。イ、実施事業についての結果ですが、「大変よい」あるいは「よい」とされた方が8割あるいは9割に上ってございまして、好意的な意見が多く見られました。それから、スタッフの対応につきましては、これは一般利用者のアンケートの結果ですが、80%以上が親切な対応であったと評価をしております。それから、総合的な満足度ですが、こちらでも9割近くの方が評価できる、「よい」「大変よい」という評価をいただいております。

それから、③です。アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応でございますが、まず、「枯れているものが多く目についた。」というご意見がございましたので、これにつきましては、気を配った管理ができるよう心掛けることといたしました。それから、「展示映像が最後まで見られない。」という苦情がございました。これにつきましては、全ての映像を確認し調整いたしました。また、定期的に確認することといたしました。続きまして、「花の名札が分かりにくいところがある。」というご意見でしたが、これにつきましては、作成方法や設置を工夫し、わかりやすい表示を心がけることといたしました。

続きまして、(2) 市に寄せられた意見、苦情ですが、0件でございました。

4 ページをお願いいたします。

「4 指定管理者による自己評価」です。こちらは、読み上げさせていただきます。

「全体的に当初の計画通りの管理運営を実施することができ、季節の花やイベントを多くの方々に楽しんでいただいている。

平成26年度は、館の魅力を向上させるため、花の美術館の植物を題材にした講座やイベントを企画し、花の美術館でなければ体験できない事業に取り組んだ。また、来館者向けのサービスの一環として団体で来館された方向けにガイドや体験教室の実施を積極的に行った。さらに、花の塗り絵や絵を描くコーナーを設置したり、中に入ることができるようなデザインの花壇を作ったりとお子様でも楽しんでいただけるようにした。

花の管理は、引き続きボランティアと協働して行い、花や緑を通じて人の輪を広げることができた。

4月に中庭がリニューアルオープンしたことから、今後は、中庭を有効利用した花の展示やイベントを企画し、集客に努めたい。」この4月というのは、本年の4月でございます。

以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の報告に対しまして、委員の皆さんからご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

大谷委員、どうぞ。

○大谷委員 2ページ目の(3)収支状況のところですが、(A)で決算額の利用料金は計画比が41.1%ということなのでかなり下回っています。実際、その説明として、人数を下回ったということが書かれていますが、ところが上の利用状況の利用者数は、前年度比が9割で、達成率が73%、それに対して収入実績が料金、金額で見ると41.1%になったということは、単に人数が下回っただけではなくて、それ以外の理由もあると思われませんがいかがでしょうか。

○公園管理課職員 収支状況の計画額というのは、当初の提案書の計画額をもとにした数値となっております。平成23年度からの指定管理ということで、22年度の時点で作成した計画の数値となっております。

上の段の利用状況の目標値につきましては、やはり経年の変化がありますので、今の状況を反映させて、近年の過去3年の平均値をとって目標値にしておりまして、そこで数値の違いが生じているという状況でございます。

以上です。

○石井部会長 よろしいでしょうか。

○大谷委員 そうすると、ここ数年かなり減少傾向にあると考えてよろしいでしょうか。

○公園管理課職員 はい。

○大谷委員 厳しくなってきたということですね。

○公園管理課職員 そうですね。

○大谷委員 それから、その収支状況につきまして「自主事業収入は、主に自主財源の投入によるもの」と書いてありますが、この「自主財源の投入による」というのは、どういう意味なのでしょう。

○竹本公園管理課長 これは公益財団みどりの協会が、この指定管理事業以外にも様々な事業を展開していきまして、公益財団法人という性格上、得られた利益の一定額を公益目的に使用しなければならないということで、それをこういった事業に割り振って自主事業として展開しているということでございます。

○石井部会長 大谷委員、よろしいでしょうか。

○大谷委員 はい。

○石井部会長 他に何かありますでしょうか。  
どうぞ。

○木下委員 今の木下委員のご質問に関わることで、後ほど総合評価のところでも議論されるのかもしれませんが、やはり利用者数が減っていることの具体的な理由について、ある程度見当がついているのかどうか。それは、対策が必要な理由なのかどうか、あるいは対策が可能な理由なのかどうか。

一方で、3ページの利用者ニーズとか満足度を見ますと、決して悪くはないということからすると、やはりみえる方が限定されてきているのかな。要するに、リピーターの方が多いのかなというような印象も持ちますけれど、いずれにしましても、かなりこのところ利用者数が減っているということについて、何らかの対策が必要なのかどうか、その辺り、もしお考えのところがあれば伺いたいのですが。

○石井部会長 はい、どうぞ。

○竹本公園管理課長 利用者数の減少につきましては、我々の分析としましては、やはりあの面積の施設でほとんどの部分が常時展示しているの、なかなかリニューアルをかけづらい、新しい刺激のものを入れ込みづらい状況がありまして、現状では減少傾向にある。それへの対応といたしましては、今回、中庭のリニューアルオープン、池であったところを今度、草木を植えてテラス的に楽しめるような空間をつくりました。そういったことでまた新しい刺激を加えましたので、今後、利用者の増加を期待したいと考えております。

○石井部会長 よろしいでしょうか。

その他に何かありますでしょうか。  
ありがとうございました。

「1 基本情報」から「4 指定管理者による自己評価」については、以上で終わります。

続きまして、4ページの「5 市による評価」について、事務局よりご報告をお願いいたします。

○竹本公園管理課長 それでは、「5 市による評価」でございます。

評価といたしましては「A」、「概ね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われていた」と評価いたしました。

所見でございますが、「展示業務、各種講座などの実施事業は、アンケート結果からも概ね好評を得ており、利用者からの意見を基にサービスの向上を図るなど、良好な管理運営に努めていると認められる。

中庭のリニューアルや後庭のトレリスの交換などの施設の保全・更新を図っているほか、植物の管理や館内のガイドをボランティアと協働して行うなど、施設の効用を高める取り組みが行われている。

利用者数は減少傾向にあることから、利用者の満足度を向上させる新たなサービスの創出など、今後の運営に期待したい。

全体的には当初の計画通りの運営内容と考えられる。」

履行状況の確認ですが、以降13項目について確認いたしました。

概ねの項目につきましては、「仕様、提案どおりの実績・成果があった」ということで、「2点」をつけてございますが、4ページ目、下の方の(3)施設の効用の発揮、施設管理能力、このうち利用促進の方策ですが、こちらは、中庭のリニューアル等を実施しておりますので、評価を「3」と、「仕様、提案を上回る実績があった」ものといたしました。それから、右のページ5ページ目でございますが、管理経費の縮減です。

下の収入見積の妥当性ですが、「利用料金収入は計画通りか」、これは計画比41%というところがありましたので、評価としては成果が認められず、改善を要する必要があったものとして「1」といたしました。それから、「自主事業収入は計画通りか」、これは自主財源を充てて事業を実施していたことから、「3」という評価をつけさせていただきました。

以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、只今の事務局の報告に対しまして、ご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

大谷委員、木下委員、何かございますでしょうか。

では、私から質問させていただきたいと思います。

収入見積の妥当性のところの利用者数の減少により計画比41%というところですが、先ほどのご説明ですと、この計画が、昨年立てたものではなくて、当初の応募したときの平成22年のものということでしょうか。

○竹本公園管理課長 はい。

○石井部会長 そこから比べていくと、減少ということになるのでしょうか、途中で見直すとかそういうことはないのでしょうか。

○竹本公園管理課長 それは、例えば2ページ目の利用状況の欄にございます、平成26年度の目標値の欄にございますが、これがその都度見直しをかけた数字になってございます。ただ、この評価の際は、やはり当初に挙げていただいたもので評価したので、こういうことでございます。

○石井部会長 木下委員、どうぞ。

○木下委員 質問ですが、モニタリングのところアンケートを毎月やられているということで、そのアンケートの結果も資料6-3に細かくご報告いただいておりますけれど、これを拝見しますと、概ねご対応いただいているところなのですが、よく見ますと、雑草が目につくとか、荒れた印象があるとか、こういうご意見も散見されます。なかなかこういう細かいところまでは手が届きにくい面もあろうかと思いますが、一方で、ボランティア活動というのがございまして、このボランティアさんの活動と美術館の正規の活動は、どういった役割分担で行われていて、なかなか手の届かないところとか、そういうところまで手が届くような、手が届かないところまで手が届くというのはおかしな話ですが、相互連携して上手くできているのかどうかということについては、市ではどのような認識をお持ちでしょうか。

○竹本公園管理課長 主にボランティア活動の方には、例えば花殻摘みですとか、そんなに汚れ作業でない部分を担っていただいているようです。一方で、管理者としましては、やはり除草作業ですとか、直営、委託含めてですが、そういったほうをやるようにしております。もちろんボランティアさんに全部お任せするわけではなくて、足りない分、手の届かない分についてはもちろん管理者の責任としてやっていることもございます。

雑草等につきましても、屋外の大花壇ですとか後ろ庭の辺りですね、その辺りでフェンスやトレリスの周辺等、作業がなかなか回らない部分がありますので、そういったところはやはり常時きれいなとは、なかなかいい実情もございます。

それから、芝生内につきましても、除草剤等の使用をしておりませんので、やはりすばらしい芝生という状況ではなくて、それなりに楽しめる芝生というグレードになっております。

○木下委員 正規の職員で手が回らない部分をボランティアさんにもお手伝いいただくとい



う可能性はないのでしょうか。もちろんボランティアさんの自主性といいますか、それも非常に大切なことなのですが、連携ということからすると、お互いに助け合っとうまく管理が充実すると思うのですが。

○竹本公園管理課長 ボランティアさんに参加していただくメニューとして、そういうものも今後提示してみて、意欲のある方についてはご協力いただいでいくということは大変いいことだと思いますし、可能性について検討していきたいと思います。

○石井部会長 よろしいでしょうか。

私から1点また質問なのですが、ホームページとか市政だよりとか、そういうことでイベントの情報を発信しているということは評価として上がっているのですが、そういう部分ではなくて、そういうものを見て花の美術館に行こうと思って来る人ではなくて、たまたま他のことで稲毛海浜公園に行った人、スポーツ施設とかもありますので、そういう人が、その場で行きたくなるような、そういう人たちを取り込むようなものというのは何かされているのでしょうか。

○竹本公園管理課長 たまたま公園にいらした方を呼び込むようなことですか。

○石井部会長 そうです。

○竹本公園管理課長 イベント等のあるときは、園内放送をかけていたかと思うのですが、常時ということではないと思います。

○山下公園緑地部長 先ほども木下委員さんから、収入とアンケートの結果が若干ずれがあるのかなど。これは、花の美術館のみならず、美術館の管理運営はしっかりしているけれど、実際に美術館に来て初めてそれが感じる。来てもらわないと、そのアンケートもかなり固定した人のアンケートになってしまうので、いかに美術館というものを外に周知、広報するかということが今一番問題というか議論すべきところではないかと。市のホームページその他では周知していますけれど、皆さんが必ずホームページを見るというのは、なかなか難しい。そうすると、ペーパーで各施設に流すとか、特に稲毛海浜公園についてはかなり広いエリアになりますので、その中にいろいろな施設がありますから、その施設間で催し事のイベントをお互いに周知し合うということが今後必要になってくるのかなど、そういう感じがいたします。

○石井部会長 では、この点よろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、市による評価については、以上で終わります。

続きまして、「6 都市局指定管理者選定評価委員会の意見」についてですが、次年度以降の管理運営をより適正に行うための意見または助言など、各委員の皆様、ごめいませうでしょうか。

木下委員、どうぞ。

○木下委員 利用者数が漸減の傾向にあるということで、そこでハードの設備への投資がなかなか難しい、面積も規模も限られているという状況の中で、やはりいろいろなイベントですね、ソフトのほうの取り組みを工夫していただいでいるのですが、引き続き楽しめる魅力あるイベントを新規の工夫をいただくなどといったことをお願いできればと思います。

もう一点は、先ほどございましたけれど、サービスの向上のために美術館とボランティアさん、うまい連携の体制を構築していただければと思います。

以上です。

○石井部会長 ありがとうございます。

大谷委員、いかがでしょうか。

○大谷委員 特にありません。

○石井部会長 私、要望から1点、外部に向けて、来てくださいというところも当然必要で

すけれど、先ほど少しお聞きしたように、海浜公園自体にはたくさん人が来ていますので、来た人にどうやって足を向けてもらうか、そういった方向でも何かお考えいただければ、市もそうですし、それから指定管理者も考えていただければいいのかなと思います。例えば、ほかの施設を使ったときに割引券のようなものを配るとか、あとは最後の30分だけ無料にするから、少し見ていってください。次はきちんとお金を払って来てくださいますとか、いろいろ考えられることはあるのかなと思いますので、そういったことも踏まえていただければと思います。

では、「6 都市局指定管理者選定評価委員会の意見」ですが、先ほどご意見いただいたことも含めてまとめて部会の意見とさせていただきますと思います。

最後に、資料6-4、6-5、「指定管理者財務諸表」から見ると、当該指定管理者の財務状況についてですが、大谷委員、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

- 大谷委員 この中身を短時間でざっと見た限り、法人自体ドラスティックに変わっているように見受けられます。いろいろな事情があって変わられたと推測しますが、その詳しい説明がないと推測の範疇でしかないので意見として申し上げられません。ただし、1つ気がついた点は、例えば、1ページ目の平成24年度の財務諸表、一般会計貸借対照表にある退職給付引当預金が要支給額に応じて倍に増えているのは、法人の諸事情があり倍増したと思われませんか。理由としては対象者の職員が倍に増えた、他の部署から職員が異動してきた等の理由が推測されると思いますがいかがでしょうか。特に特別会計の退職給与引当預金があまり増えていないのに対して、一般会計の退職給与引当預金が倍に増えた特別の理由があるのでしょうか。
- 増田都市総務課長 これは、恐らく推測なのでまた確認をしますけれど、いわゆる退職金引当の率というのが一般的にありまして、旧来であれば、そういう形であっても100%にしろという形、いわゆる定年までいるということを前提とした雇用体系に対する退職金の積み立てが旧来の方であったわけですが、労働の流動化に伴って、それでは、要するに十分に積み立てができていないということがあったようで、いわゆる市の外郭団体について、みんな同じような形で引当金の積み上げというのですか、いわゆる右肩上がりに積み上がっていくのが直線上に本当は積み上げていなければいけない、年齢がいくにしたがってですね、給料と同じようにしなければいけないのですが、それが退職に近くなると100%に充当するような、そういう積み立て方をしてきた関係で、半分ぐらいしか、要するに目標額に対して積み立てていなかった。しかし、それを積み立てていくには、やはり計画的に積み立てなきゃいけないということで、26年はまた倍ぐらいになっているということもあるので、その辺りかだと思います。雇用者の人数が増えているというわけではないよね。
- 竹本公園管理課長 ないです。
- 石井部会長 その点について私からも質問なのですが、3ページの真ん中あたりの④管理費、これを見ると、当年度が役員費は1,126万円で前年度が85万円、職員費が当年度が1億509万円、前年度が5,094万円と激増しているように見えるのですが、これは人数が増えているからということではないのですか。
- 大谷委員 追加で質問させてください。それ以外にも、当年度と前年度を比較すると、数字が大幅に増減しています。内部的にも組織編成等特別な事情があるのではないかと思われるくらい様々な科目の金額が半減したり、倍増したりしておりますので法人の実情がわからないと、何とも質問もできませんし、数字だけの財務諸表を見て意見を述べるのができません。何か市としてつかんでいる情報を開示していただけないでしょうか。
- 竹本公園管理課長 人数は増えていないですし、職員の給料も上げているという実態はあ

りません。

○公園管理課職員 17%削減しています。

確認はしますが、例えば、同じ11ページの特別会計の正味財産増減計算書の中の管理費では逆に減ってしまっていて、いわゆる特別会計は収益事業で、一般会計はいわゆる公益事業となっていて、そちらに人数の割り振りをしているのかなと思われます。ただ、それだけとは限らないのですが、そういったこともやっていると思われます。

○大谷委員 恐らく平成25年度財務諸表を作成する際に新会計基準を適用するに当たってどのような業務を特別会計と一般会計に区分するか、そのような調整があったのではないかと、また、組織的にも諸事実が変わったことが財務諸表に結果的に反映されたかと推測します。

○竹本公園管理課長 いわゆる財団法人から公益財団法人に法人格が変わったので、その影響でやりくりがあったと。

○大谷委員 従来、公益事業と判断していた事業が時代の流れと共に収益事業と判断せざるを得ない状況になったと言うことも考えられます。法人が行っている事業が収益か公益かの区分判断は一度決定すると、何らかの事実が変わり、所轄の公益法人認定審議会の認定を受けない限り、その変更は容易に行えません。その移行に当たり様々な判断が働いていると思われますが、その事情についてもご説明していただければ、より良いアドバイスができたかと思ひます。

○竹本公園管理課長 はい、申し訳ございませんでした。

今、ご質問等ありました事項につきましては、再度調査しましてご報告させていただきたいと思ひます。

(確認結果)

みどりの協会の経営改善の一環として、将来的な事業の縮小・人員の削減に備えるために、平成24年度に退職給付引当金の積立額を自己都合退職に比較し割高となる協会都合により必要とされる額まで満額を積み立てることとしました。

また、平成23年度は事業費に含めていた人件費を、平成24年度は職員費として区分しました。

○石井部会長 よろしくお願ひいたします。

大谷委員、よろしいでしょうか。

○大谷委員 はい。

○石井部会長 ありがとうございます。

以上で、議題(1)「稲毛海浜公園花の美術館(三陽メディアフラワーミュージアム)の年度評価」を終わります。

続きまして、議題(2)「稲毛海浜公園教養施設の年度評価」に入ります。

初めに、資料7-1「平成26年度指定管理者評価シート」の「1 基本情報」から「4 指定管理者による自己評価」について、事務局よりご報告をお願ひいたします。

○竹本公園管理課長 それでは、指定管理者評価シートについてご説明申し上げます。

「1 基本情報」。

施設名、稲毛海浜公園教養施設。

指定管理者、公益財団法人千葉市みどりの協会。

指定期間は、平成25年4月1日から平成28年3月31日までの3年間でございます。

所管課につきましては、都市局公園緑地部公園管理課です。

「2 管理運営の実績」。

(1) 主な実施事業。

①指定管理事業といたしまして、施設運營業務、維持管理業務、各種事業でございます。

詳細につきましては、ご覧のとおりでございます。

②自主事業といたしまして、広報啓発、それから、次のページに続きまして各種事業でございます。各種事業につきましては、稲毛記念館のロビーコンサート等ですとか、民間航空記念館の航空科学クラブ等、ご覧のとおりでございます。

2ページ目、(2)利用状況です。

①利用者数、こちらも表の上段が有料利用者のみで、下段につきましては無料利用者を含んだものとなっております。

まず上段ですが、有料利用者は2万4,168人、前年度比85.1%、無料利用者を含んだものが16万5,383人、85.6%でございます。

次に、稼働率でございます。

一番上の段が稲毛記念館でございますが、こちらは31.9%、対前年度比はマイナス1.7%、2段目が民間航空記念館で、26年度が5.2%、対前年度比がマイナス39.6%、それから3段目の海星庵、こちら茶室でございますが、32.2%、対前年度比がマイナス1.2%、それから一番下、野外音楽堂でございますが、稼働率10.5%、対前年度比がマイナス5.6%。

このうち2段目の民間航空記念館の稼働率が落ちてございますが、それにつきましては、従前、講習室等を利用していた講座の場所を変えたということで、その講習室の稼働率が下がっているという状況でございます。これは、みどりの協会で行っていた自主事業の場所を変えたということでございます。

続きまして、3ページ目ですが、(3)収支状況です。

①収入実績ですが、指定管理委託料が5,490万6,000円、計画比100%です。それから、利用料金が604万7,000円、計画比が155.4%、自主事業につきましては402万5,000円、計画比が136.6%、その他が8万3,000円、計画比が86.5%、合計で6,506万1,000円、計画比が105.2%でございます。

利用料金収入につきましては、更衣室としての利用が増加していることによる増でございます。それから、自主事業収入につきましては、先ほどと同様、自主財源を投入したものでございます。その他につきましては、茶道教室・工作教室等の参加料でございます。

②支出実績です。

人件費3,993万3,000円、計画比115.1%、事務費が1,307万5,000円、計画比139.0%、管理費が1,370万7,000円、計画比が92.6%、自主事業が402万5,000円、計画比が136.6%、合計で7,074万円、計画比が114.4%です。

事務費の増は、主に光熱水費の増でございます。自主事業につきましては、民間航空記念館の展示変更を行いましたので、これにより増加してございます。

収支実績ですが、567万9,000円の赤字でございます。

続きまして、(4)指定管理者が行った処分の件数、(5)市への審査請求、(6)情報公開の状況につきましては、ご覧のとおりでございます。

次のページ、4ページをお願いいたします。

「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」です。

(1)指定管理者が行ったアンケート調査の結果。

①アンケート調査の実施内容ですが、こちらにつきましても、毎月アンケートを実施いたしました。回答者数につきましては、1,040件でございます。

続きまして、②調査の結果ですが、これにつきましては、イ、実施事業についての調査結果ですが、96%の方が「大変よい」「よい」等とイベントについてのアンケートにお答えいただいております、非常に好評であったと思われま。

続きまして、ウ、スタッフの対応ですが、「よい」というご判断が8割以上の方からいただいております、概ね良好な評価を得ていると判断してございます。

それから、総合的な満足度ですが、こちら「大変よい」「よい」合わせて9割近くの方から好意的な意見が寄せられてございました。

③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応でございます。

まず、民間航空記念館につきまして「飛行のメカニズムを解説してほしい。」というご要望がありましたので、これにつきましては、講習室に「飛行の原理」を展示しているため、そちらの案内表示を掲示いたしました。既に展示してあったものをご案内することをしたということです。

それから、「飛行機の模型がもう少し増えると良い。」というご要望がありましたが、これにつきましても、講習室にも模型を展示しているため、案内に努めることといたしました。

続きまして、(2)市に寄せられた意見、苦情ですが、0件でございました。

続きまして、「4 指定管理者による自己評価」。こちらにつきましては読ませさせていただきます。

「施設の維持管理を中心に、有料施設の貸し出しや施設プロモーションのための各種イベントを多数実施し、多くの利用者に満足していただいた。

稲毛記念館では、茶会や企画展示、お楽しみ教室などを実施し、さらに有料施設は、イベント開催時のパンフレットの配布等施設周知を積極的に実施した結果、平日の更衣室利用及び茶室利用者が増加したため、増収となっている。

民間航空記念館では、航空科学クラブ、稲毛エジソンクラブ、親子科学クラブ等の年間講座を行うとともに、紙飛行機工作教室やなぜなに解説、稲毛飛行場の歴史に特化した常設展示の変更や稲毛飛行場物語を配布し、飛ぶことの楽しさを多くの利用者に伝えたことにより、無料入館者が前年対比で3,100人の増となった。

海星庵でも茶会以外に更衣室利用及び撮影場所としての利用が増加しているが、野外音楽堂は利用が減少となっている。

施設の管理については、利用者からのご意見を重視し、施設において、毎月利用者アンケートを実施するほか、イベント開催時にも参加者からのアンケートを実施しており、頂いたご意見・ご要望を施設に張り出し、対応状況をお知らせするようにするなど、利用者により満足度の高いサービスを提供するべく積極的な活動を行った。

その他については、当初計画どおり着実に業務を遂行し、利用者からのご意見を重視し、利用者本位のサービスを行えるようイベント等を企画してきたと考えている」。

以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の報告に対しまして、ご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

大谷委員、どうぞ。

○大谷委員 3 ページ目の収支状況ですが、前案件については、利用料金が減って困るという話でしたが、この案件については、利用料金が50%も増えています。逆に従来行っていた茶道教室とか工作教室の参加料が微減しているような状況の中で利用する方のニーズをつかむと、意外と利用料が増えてすごく望ましい方向に進めるのだと思いました。逆に、ニーズがつかみきれず、公益性ばかり追いかけてしまうと、利用者の意図から外れてしまい、なかなか利用していただけないのだと思います。当該案件はとてもよいヒントになると思いますが、いかがお考えでしょうか。

- 竹本公園管理課長 ここは、当初提案をいただいた時点でも、もう既にコスプレの利用者という方がかなり多くあったのですが、考え方として、それを積極的にさらに増やしていくということではなくて、やはり本来的なそういった科学的な講習ですとかお茶目的、そういったものをできれば伸ばしていきたいというような、提案時には意図があったのだと思いますが、結果的には、やはりコスプレ等の方の利用がかなりある。結局予約になってしまいますので、その時に、コスプレの方が来て予約を取ってしまうと、本来目的のお茶の利用が減ってしまう。そういったこともあってこのような結果になっていると思います。コスプレを否定するものではないのですが、例えば、お茶室であれば、やはり本来目的を増やしていくほうが望ましいと我々としては考えているところでございます。
- 石井部会長 木下委員、どうぞ。
- 木下委員 民間航空記念館ですけれど、2ページのところで、稼働率が非常に下がっていると。その理由として、講習室等で行われていたイベントや教室の会場が変わったと。これはどちらで行われるようになったのですか。
- 竹本公園管理課長 同じ建物なのですが、有料施設の区域でやっていたものを、展示のスペースのほうにということです。
- 公園管理課職員 紙飛行機をつくっていただいて飛ばすという事業でございました。
- 木下委員 その傾向というのは今後も続きそうなのですか。従来の講習室でのイベントは減る傾向にあるというように理解していいのですか。
- 竹本公園管理課長 積極的に減らしていくということではなくて、事業の中身を見て、講習室でやるよりも展示室でやったほうがよいものを今回移してあるということです。
- 木下委員 個人的には講習室は、あそこの施設の中で少し何かわかりにくいという感じがして、アンケートの中でも、結構、講習室の中にも展示スペース、展示物があるのですが、気づかずに、こういうのも見たい、ああいうのも見たいというような意見があったように。そうすると、案内が不十分なのか理解していただけていないのか、わかりにくいのかわかりませんが、一方で、講習室の使用頻度がもし減っていく傾向があるということであるなら、講習室のあり方を見直す必要ということは考えなくてよろしいのですかね。もう少し展示的な機能を高めるとか、従来の展示のほうで講習もやるということであるなら、何かそういう機能の分担のあり方というものを見直す必要はないのかなとも思ったのですが、これはいかがでしょうか。
- 竹本公園管理課長 もともと講習室にはそんなに展示があったわけではなくて、ワークショップとして使えるように設けた部屋なのですが、そこに展示を充実させるためにいろいろなものを入れ込んでいる。予約がないときは、それを自由にご覧いただくようなスタイルを今はとっておりまして、講習室を廃止していくということは考えていませんので、ただ、当然、利用率が低いという事実はありますので、もう少し展示から教室に流れるような、そういうプログラム等は考えていく必要があるのかなと。
- 木下委員 あそこは常時人が並んでいるのですか。
- 竹本公園管理課長 そうです。
- 木下委員 それも、もしかしたら少し入りにくくする原因かもしれない。案内をわかりやすくしていただければと思います。
- 竹本公園管理課長 再度確認して改善したいと思います。
- 石井部会長 私から質問させていただきます。

3ページの収支状況のところ、収入としては実績は計画よりも上がっているということなのですが、逆に支出が増えてしまっていて、事務費の増加が主に光熱水費支出の増加によるとあるのですが、これは具体的にはどうして増えてしまったのか。予定どおりに収

入が入ってきているけれど、それ以上に使ってしまったということになるのかと思うのですが、その辺りはどういう理由かということは把握はされているのでしょうか。

- 公園管理課職員 25年度の電気料の支払いが遅れてしまいまして、その分が26年度に入っているという状況でして、25年度は逆に少なくなっている状況です。
- 石井部会長 それと、人件費も15%ほど計画よりも増加しているようですけど、これは何か特別な理由等があったのでしょうか。
- 公園管理課職員 26年度の人件費につきましては、日本庭園の管理を直営で行うこととしておりまして、その契約職員の2名分が増加しております。
- 石井部会長 他に何か委員の皆様ありますでしょうか。
- 木下委員 先ほど聞き忘れたのですが、モニタリングのアンケートなのですが、野外音楽堂とか稲毛記念館での利用者アンケートを拝見しますと、これはイベントに対する感想とございますか、概ね満足していただいているということなのですが、どういう質問をアンケートの中でされているのかわかりかねますけれど、イベントに対する満足度が、満足していただいているなら、それは総合的な満足度ということでもいいと思うのですが、施設そのものに対する評価のような質問というのは、特にアンケートの中ではされていないのでしょうか。もしあれば、多分この中でも、このアンケートの中でも言ってくると思うのですが、概ね満足してはいただいているのかなと思うのですが、かなり古い施設ですので、施設そのものに対する不満やご意見というものは特になかったですか、あるいは質問の中でそういう質問というのはされているのでしょうか。
- 公園管理課職員 利用者を対象としたアンケートについては、稲毛記念館と民間航空記念館を中心に行っておりまして、野外音楽堂については、そういったイベントがあるときを中心に行っているという状況でございます。
- 木下委員 施設については特に無い。
- 公園管理課職員 はい。
- 木下委員 数字が入っていて空欄になっているのは、回答がなかったということですか。例えば、これは稲毛記念館ですね。アンケート実施状況のところに入っているのですが、意見は特に無いと、空欄になっているのですか。アンケートは配布したけど、返答がなかったということでしょうか。7-3の70ページです。
- 竹本公園管理課長 特記事項が空欄であったということです。
- 石井部会長 では、続きまして、5ページ、「5 市による評価」について、事務局からご報告をお願いいたします。
- 竹本公園管理課長 それでは、「5 市による評価」。

評価は「A」とさせていただきます。

所見ですが、「接客対応や各種教室、イベント内容などのサービス面はアンケート結果からも好評を得ているなど、良好な管理運営が行われていると評価できる。

各種イベントを積極的に実施するとともに、民間航空記念館においては展示をリニューアルするなど、利用者満足度向上のための取り組みが行われている。

貸出施設は更衣室としての利用が多い状況が続いているため、利用料金収入は計画比で増収となっている。

全体的には、当初の計画通りの運営内容と考えられる。」

履行状況の確認ですが、ごらんの13項目に対して確認いたしました。

「概ね仕様、提案どおりの実績・成果があった」ものと思われませんが、6ページでございますが、(4)管理経費の縮減。

収入見積の妥当性、「利用料金収入は計画通りか」というところで、更衣室としての利

用が増えているなど、計画比155%ということでございましたので、「3」をつけさせていただきます。

以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の報告に対しまして、ご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

私から質問させていただきます。

「利用促進の方策」という(3)のところですけども、小中学校にパンフレットを配布したりしたとあります。これは先ほどの花の美術館の昔のアンケート等が出てきた中で、月曜日以外に休館日を変更してほしいという意見がありました。今回のこの稲毛海浜公園の教養施設、ここも休館日というのは、やはり月曜日なのでしょう。

○竹本公園管理課長 はい。

○石井部会長 そうすると、なぜ月曜日と言ったかということ、小中学校等の、例えば運動会などがあって、代休で月曜日がお休みになるところがあると思うのですが、そういうときに臨時で開館して、この日もやっていますよというようなことを小中学校等を通じてやれば、さらにいいのかなと、ふとここを見て思ったので、そのように今聞いてみたのですが。

○竹本公園管理課長 そうですね、やはり今振替で月曜日が休みのところが結構ありますので、お子様相手のことを考えると、月曜日以外をお休みにしていくというのは、これからの考え方として正しい方向だと思います。

あとは、その施設の利用実態に応じて、大人の方が多いいのか、子供の方が多いいのか、そういうことをもう一度見きわめた上で、もし変えたほうが良いということであれば、これは条例を改正していく大きなお話になりますけれど、検討していきたいと思います。

○石井部会長 はい、お願いします。

○公園管理課職員 補足させていただきますと、稲毛海浜公園教養施設につきましては、みどりの協会の提案で、第4月曜日のみ休館としております。条例上は、毎週月曜日休館なのですが、協会の提案でそのように供用日を拡大しております。また、供用時間につきましても、稲毛記念館、航空記念館について、9月から4月については1時間の延長、5月から8月については2時間の延長を行っております。

○石井部会長 木下委員、大谷委員、何かございますでしょうか。

○木下委員 私、民間航空記念館大好きなのですが、飛行機が好きなものですから。いろいろPRしていただいている、アンケート等も拝見すると、非常にお子さんにも人気があるし、よろしいかと思うのですが、航空マニアっていらっしゃるよ、そういうかなりマニアックな方々にもアピールしたり、あるいはそういう方々向けのイベントなどもあっていいという気がしているものですから、引き続きイベントとプロモーションを充実させていただきたいという、大きくはそういう意見なのですが、マニア向けのイベントなども充実するといいいのではないかなと思います。

○竹本公園管理課長 マニア向けというと、どういう。

○木下委員 飛行機を飛ばしたいとか、飛ばすのは難しいのでしたっけ。

○竹本公園管理課長 ラジコンですか。

○木下委員 ラジコンではなくて鳳号とか、ああいう古いクラシック飛行機に関する歴史とかそういうイベントはおもしろいのではないかなと思うのですが。

航空雑誌がいろいろ出ていて、そちらにも情報提供されていますよね。大人も結構楽しめるというアンケートの結果もありましたので、私も具体的にすぐ答えられませんが、何かそういう大人向け、マニア向けのイベントも考えるとあるのではないかなんて思う



のですが。

○竹本公園管理課長 わかりました。

○石井部会長 先日のエアレースとの絡みで何かこのアピールをしたということはあったのでしょうか、市として。

○竹本公園管理課長 市としては、エアレース絡みでということではないのですが、ただ、せっかくあれが開催されましたので、我々としても、日本で最初に開かれた大会ですし、今後も開かれる可能性もありますので、何か記念になるような展示ができればなということと考えてはおります。ただ、具体的に何かということがまだないのですが。例えば、レッドブルエアレースをやったときに、通りにバナーを、旗をずっと並べましたので、そういったものを記念にするとか、いろいろ今考えているところです。

○公園管理課職員 エアレースの際には、外国人のお客様がみえられるということが想定されましたので、通訳を配置したと聞いております。

○木下委員 実際に外国人の方はいらしたのでしょうか。

○公園管理課職員 確認はできていないです。すいません。

○山下公園緑地部長 今、エアレースの件もありますけれど、木下委員から、航空記念館は、鳳に限ったような形の記念館になっている。ですから、鳳に特化したものだと限られてくるので、できれば、鳳と併せて他の飛行機と連携できるような形の展示方法とか、そうすると、直近でいくとエアレースをやったから、エアレースのものを鳳と並べて、新旧対照ではないのですが、施設とか展示物をどこか特化するという形の変化をつけるような形の展示方法というものも入れていけば、かなり外にアピールできるのかな。人に来てもらうことが第一なので、幾ら施設が充実したからといって、来園者がいなければ、何の展示の効果もありませんので。極端に言うと、展示物はそれ程でもないけれど、来園者が多いということがベストだとは思いますが、その辺りで展示方法というものを研究していきたいとは思っております。

○石井部会長 よろしいでしょうか。

○大谷委員 はい。

○石井部会長 ありがとうございます。

では、「5 市による評価」については以上で終わります。

続きまして、「6 都市局指定管理者選定評価委員会の意見」についてですが、今まで出たことに加えて、さらにより適正な管理運営を行うための意見または助言などございましたら、よろしくお願ひいたします。

木下委員、大谷委員、つけ加えることは特段ございませんでしょうか。

○大谷委員 はい。

○木下委員 はい。

○石井部会長 では、先ほど、「市による評価」のところで、あわせて私たちの意見等も述べておりますので、そういったことも含めまして部会の意見とさせていただきたいと思ひます。

以上で、議題（2）「稲毛海浜公園教養施設の年度評価」を終わります。

続きまして、議題（3）「都市緑化植物園みどりの相談所の年度評価」に入ります。

初めに、資料8-1「平成26年度指定管理者評価シート」、「1 基本情報」から「4 指定管理者による自己評価」について、事務局よりご報告をお願いいたします。

○竹本公園管理課長 まず、「1 基本情報」ですが、施設名、都市緑化植物園みどりの相談所。

指定管理者、公益財団法人千葉市みどりの協会。

指定期間は、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間でございます。  
所管課につきましては、都市局公園緑地部公園管理課でございます。

## 「2 管理運営の実績」。

### (1) 主な実施事業。

①指定管理事業といたしまして、施設運營業務、維持管理業務、みどりの相談業務、講習会事業。詳細につきましては、ご覧のとおりでございます。

②自主事業といたしまして、広報啓発事業、講習会事業、緑化推進事業。詳細につきましては、ご覧のとおりでございます。

続きまして、(2)利用状況です。

①利用者数、平成26年度9,205人、前年度比が129.6%。

稼働率につきましては42.4%、前年度比がマイナス1.4%でございます。

次のページ、2ページをお願いいたします。

### (3) 収支状況。

①収入実績ですが、指定管理委託料が5,461万3,000円、計画比100%です。利用料金が22万3,000円、計画比が109.9%、自主事業が551万9,000円、計画比が60.3%、その他が23万5,000円、計画比が79.7%、合計で6,059万円、計画比が94.3%。

自主事業収入につきましては、自主財源を投入したものでございます。その他は、講座の参加料でございます。

続きまして、②支出実績ですが、人件費3,797万円、計画比99.2%、事務費1,033万5,000円、計画比94.3%、管理費574万5,000円、計画比97.9%、自主事業551万9,000円、計画比60.3%、合計で5,956万9,000円、計画比92.7%。

自主事業費は、主に事務費の経費節減により減少しております。

③収支実績ですが、102万1,000円の黒字でございます。

続きまして、(4)指定管理者が行った処分の件数、(5)市への審査請求、(6)情報公開の状況につきましては、ご覧のとおりでございます。

続きまして、3ページ、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」です。

### (1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果です。

①アンケート調査の実施内容。こちらも毎月アンケート調査を実施いたしました。回答者数は863件でございます。

②調査の結果ですが、まず、イとして、実施事業についてですが、各イベントについては、概ね好評でありました。これは、受講者アンケートの結果ですが、85%の方が「大変よい」「よい」という評価をしてくださいました。続きまして、ウ、樹木・草花の管理ですが、これは一般利用者からのアンケートの結果ですが、樹木や草花などの管理の仕方が「大変よい」「よい」合わせて85.5%ございまして、良好な評価を得てございます。エ、総合的な満足度ですが、こちらも「大変よい」「よい」合わせて88%ということで、良好な評価を得てございます。

③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応ですが、まず要望といたしまして、「現在地の案内板を増やしてほしい。」というものがございまして、これにつきましては、現在地の園内図を4か所設置いたしました。それから、「湿生地の植物をもう少し多くしてほしい。」というご要望がありまして、これにつきましては、クリンソウ100株を植栽いたしました。それからご意見ですが、「相談所内中央の柱周りの展示棚が残念。」残念というのは、展示の内容が陳腐であるということでございましたので、これにつきましては、展示内容を一部変更しまして、クロモジの房楊枝を展示いたしました。これは千葉県の伝統工芸でございまして、クロモジという樹木でつくった房楊枝を数十本

展示するような形をいたしました。

(2) 市に寄せられた意見、苦情ですが、0件でございます。

続きまして、「4 指定管理者による自己評価」ですが、「管理運営事業については、施設の貸し出しや維持管理業務を適切に実施し、各種講座についても当初計画を着実に実施し、利用者に好評を得ることができた。

花や緑の相談には、樹木医や森林インストラクターなど、幅広い知識や実務に精通した専門員を複数名配置し、都市緑化植物園みどりの相談所として利用者の疑問や質問に速やかに対応した。

また、展示方法については、実際に学び参考にできるようにするとともに、来園者の意見を反映した展示替を行うなど、常に季節を感じてもらえるよう配慮し、利用者に概ね満足していただいた。

自主事業は、野外観察講座やバラ管理講座、菊花展、花の写真展など、数多くの講座や展示会をボランティア団体と協同して実施し、多くの利用者に喜んでいただくことが出来た。

園内維持管理は毎朝巡回による確認と園路清掃を行うとともに、草刈・剪定・除草などを随時実施し、利用者に快適に過ごしていただけるよう努力した。一般財団法人千葉県まちづくり公社から草花苗の提供を受け園内随所に草花を設置するとともに、ヤマユリやクリソウの植栽を行い、花の名所作りに努めた。さらに、ボランティア団体とともにバラ園A・Bゾーンの耕耘を行い、既存のバラを他ゾーンに移植するとともに、新たに300株を新植し、バラ園の魅力作りに努めた。また、野草園の園路を新たに作るとともに、ハーブ園の園路を整備し、身近に植物が見られるように努めた。

施設整備においては、湿生地水路や藤棚の修理、園内ベンチや相談所内図書コーナーの塗り替えなどを積極的に行い、利用者へのサービス向上に努めた」。

以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の報告に対しまして、ご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

どうぞ、大谷委員。

○大谷委員 1 ページ目の利用状況を見ますと、利用者数の達成率が129.6%ということで、かなり利用者も多く、自主事業も、講習会事業が頻繁に開かれており、まめにいろいろな活動をされている努力が見受けられます。

その割には、残念ですが、次のページの収支状況、利用料金は微増にとどまっています。恐らく1回当たりの利用料金がかなり安目なのかなと思いますが、本当に本来の、市としてもやっていきたい事業の模範生みたいな形になっていると思います。

○石井部会長 木下委員、何かございますでしょうか。

○木下委員 私もこれ、利用者数が増えて良かったなと思います。市では、この理由については、今、大谷委員が言ったようなことを考えておりますでしょうか。

○竹本公園管理課長 講習室の利用者数の増加理由としまして、協会主催の講習会や展示会などの利用のほか、植物画サークルですとか俳句会ですね、そういうものの利用も増えてきたために増加しているということでございます。

○木下委員 そうですね、多分そういうPRとか宣伝も上手くいっていて、口コミで増えたりもしているのかもしれないと思いますけれど、今度は逆に増えた、満足いただけている理由というものをきちんと把握されて次に生かしていただければと思います。

○竹本公園管理課長 はい。

○木下委員 それから、こちらでは森林インストラクターとか樹木医さんとか専門家の方々の連携、それからボランティア団体の皆さんともハード、ソフトともうまく連携が進んでいるようで、そういったことも人気というか、利用者増の一つにつながっているのかなと思いました。

ボランティア団体とは定期的に意見交換したり、かなりみどりの協会とボランティアとの関係というのは、「長年培ってきたノウハウと実績があり」などと7ページにも書いてありますけれど。

○竹本公園管理課長 都市緑化植物園のボランティアにつきましても、それぞれかなり歴史が長いということと、バラ園の管理を中心に、汚れることを厭わないような形で積極的に活動していただいております。また、園自体がコンパクトですので、当然、指定管理者であるみどりの協会の職員とのコミュニケーションは深くとれている状況でございます。

○石井部会長 この点はよろしいでしょうか。

では、「1 基本情報」、「4 指定管理者による自己評価」については、以上で終わります。続いて、4ページ、「5 市による評価」について、事務局からご報告をお願いいたします。

○竹本公園管理課長 「5 市による評価」でございますが、評価は「A」、概ね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われていたと評価させていただきました。

所見でございますが、「講座やイベント内容などのサービス面は、アンケート結果からも好評を得ていることから、良好な管理運営が行われていると評価できる。

園内は全体的にきれいに管理されており、ボランティア団体とともにバラを植え替えたほか、園内随所への花苗の植栽や園路の整備を行うなど、施設の魅力向上を図っている。

全体的には、当初の計画通りの運営内容と考えられる。」

履行状況の確認ですが、ご覧の12項目について確認いたしました。全て仕様、提案どおりの実績・成果があったものとして、「2」という評価をさせていただいております。

以上です。

○石井部会長 ありがとうございます。

今のご説明に対して、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

私から1点、この市による評価のところの評価の数字というか、3段階で今、履行状況についてされているのですが、この点が、今回の、今まで出てきた3つのうち、今審議しているものが一番目標に対しては良くなっているなというような、報告については印象を受けるのですが、ここの評価の数字だと、ほかが2.1とかで、ここが2.0となって、一番低く数字が出てしまうというところで、この評価の数字について何か検討を今後されることがあるのかどうかを少し気になったのですが。

○竹本公園管理課長 もともと良く回っているという状況があって、それが仕様、提案のベースになっているところもありまして、その年度に飛び抜けているというものがなかなか、今回はつけなかった理由ということ。ただ、現地がどうなのかということ、それは良好に運営されているということでは評価してございます。

○石井部会長 大谷委員、何かございますでしょうか。

○大谷委員 私も同様な意見で、合計点数が残念ながら一番低いので。多分皆さんこれを見られて、ここが一番良いのではないかと思う割には点数が低く出ています。この案件は規模的にも小さいからでしょうか。だから、もう少しできれば評価してあげたかったと思うのが率直な意見です。

○竹本公園管理課長 我々の評価の考え方について、ご意見等を踏まえて再度検討してみた

いと思います。

○石井部会長 木下委員、何かございますでしょうか。

○木下委員 どうでしょうね。たまたま今年度のみ良かったということでもない気がするのですが、多分、バラ園の整備とか、かなり造成も含めた改修的なことをやったことも大きかったのではないかと。それはボランティアさんとの協力のもとで長年培ってきた信頼関係、そういうものもあって可能になったことですので、決して一過性の、たまたま偶然の出来事ではないと思うのですが。私、たしか去年も、点数もそうですけど、この「A」、「B」、「C」でしたっけ。

○竹本公園管理課長 「S」、「A」です。

○木下委員 「S」、「A」ですか。これもみんな「A」になってしまうんですね。

「A」の中にも「Aプラス」、「Aマイナス」があつていいのではないかというような、そんな意見を確か言ったような気がするのですが。今までは全部「A」で差が出てこないということも残念だなということがありますけれど。少し惜しいですね。点数や評価に表れてこないということは。

○石井部会長 はい、お願いします。

○山下公園緑地部長 評価が「S」、「A」、「B」、「3点」、「2点」、「1点」と、3段階評価ということは、はっきりしたものだとつけやすい。ただ、内容が若干違うとなると、この3段階評価でどこにつけていいのかということが少し難しい点が出てくるので、これを5段階評価にしたらもう少し細くなるのかということ、今度は施設によって基準というのものも、細かくすればするほど変わってくるのかなと。ですから、これは一応今3段階ですが、5段階にして、他の施設とも整合がとれるような形の評価。評価の中身についても、同じ中身だけれど、若干協力体制が違うなどという、これから向上していきそうな、進歩していきそうなというのが見える点を評価するような評価項目というものを検討していければなど。とりあえずこのところはずっとこの評価でやっておりますので、今後、評価についても、やったものに対してのいい評価が出るような評価方法、そうしないと、幾らやっても同じ評価だということになってしまうので、その辺りは少し評価を検討していきたいと思っております。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、「5 市による評価」については、以上で終わります。

続きまして、「6 都市局指定管理者選定評価委員会の意見」についてですが、今までいただいた意見につけ加えまして、さらにご意見、ご助言などございますでしょうか。

大谷委員、木下委員、いかがでしょうか。

○木下委員 ボランティアとの連携は、今後とも非常にこの園の場合には大事だと思うのですが、ボランティア自体の持続性といいますか、後継者などその辺りは大丈夫なのでしょう。あるいは、そういうことに対する市の支援といいますか、協会のサポートのようなことの可能性というものはないですか。

○竹本公園管理課長 やはり、どのボランティアもそうなのですが、高齢化という問題は抱えていると思います。それに対して市あるいは指定管理者として、どのようなサポートができるかということ、なかなか具体的に、高齢化、新たな担い手の発掘という部分では、やらなければいけない部分ではあるのですが、実際その効果的な手法が。

○木下委員 例えば園に見学に来ていただいた方にボランティアに参加しませんかというような、そういう宣伝はしてもいいのではないかと思います。そういうことはされているのですか。

○竹本公園管理課長 いずれにしても、その次の担い手については見つけていくということ

が一番重要ですので、対応を考えていきたいと思えます。

- 石井部会長 それでは、この施設につきましては、現状うまくいっているようですので、ボランティア団体との連携も含めて、さらにより良い運営を行っていただければと思えます。

先ほどの項目ごとにいただいたご意見も含めて部会の意見とさせていただきます。

以上で、議題（３）「都市緑化植物園みどりの相談所の年度評価」を終わります。

続きまして、議題（４）「亥鼻公園集会所の年度評価」に入ります。

初めに、資料 9-1 「平成26年度指定管理者評価シート」、「1 基本情報」から「4 指定管理者による自己評価」について、事務局よりご報告をお願いいたします。

- 竹本公園管理課長 まず、「1 基本情報」ですが、施設名、亥鼻公園集会所。

指定管理者、株式会社塚原緑地研究所。

指定期間につきましては、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間でございます。

所管課につきましては、都市局公園緑地部公園管理課でございます。

「2 管理運営の実績」。

（１）主な実施事業。

①指定管理事業ですが、施設運營業務と維持管理業務でございます。詳細はご覧のとおりでございます。

②自主事業ですが、茶店、講座・催事、詳細につきましては、ご覧のとおりでございます。

（２）利用状況。

①利用者数ですが、平成26年度実績が2,550人、前年度比104.8%。

稼働率ですが、51.7%、前年度比が4.8%増でございます。

続きまして、2ページです。

（３）収支状況ですが、①収入実績、指定管理委託料が859万1,000円、計画比100%です。利用料金ですが55万9,000円、計画比114.3%、自主事業ですが772万3,000円、計画比100%、合計で1,687万3,000円、計画比が100.4%でございます。

利用料金の増額は、主に利用者に施設案内を送付し、リピーターの利用者が増えたためと思われま。

続きまして、②支出実績ですが、人件費が690万3,000円、計画比が103.7%、事務費が180万8,000円、計画比が98.3%、管理費が57万4,000円、計画比が98.1%、自主事業が726万2,000円、計画比が94.6%、合計が1,654万7,000円、計画比が98.7%です。

人件費の増額理由は、新規スタッフの補助要員の費用が増えたためです。また、自主事業の減額理由は、主にイベント開催時における臨時の人件費を削減したためでございます。

③収支実績ですが、32万6,000円の黒字でございます。

続きまして、（４）指定管理者が行った処分の件数、（５）市への審査請求、（６）情報公開の状況につきましては、ご覧のとおりでございます。

次のページ、3ページ目ですが、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」です。

（１）指定管理者が行ったアンケート調査の結果です。①アンケート調査の実施内容ですが、こちらにつきましては、3つの種類のアンケートを実施しております。1つ目が、集会所利用者アンケート、これは全利用者にアンケート用紙を配布して回答いただいておりますが、回答者数が130件です。それから、Bとしまして、庭園文化講座参加者アンケートということで、これは庭園文化講座参加者に対するアンケートで、回答者数は71件でございます。それからC、茶店利用者アンケートでございますが、これは割引券をお持ち

ちいただいた方にアンケートをお願いしまして、回答者数が156件でございます。

②調査の結果ですが、まず、A、集会所利用者アンケートでございますが、ウ、利用目的としましては、写真撮影、会合、茶会等の利用でございました。それからエの実施事業ですが、施設（備品）につきましては、「満足」「ほぼ満足」で97%の評価が得られております。合計が100に足りないのは、無回答等があるためでございます。それから、清掃につきましては、「満足」「ほぼ満足」で96%の評価を得ております。それから、売店の品ぞろえが「満足」「ほぼ満足」合わせて93%、それから接客対応につきましては「満足」「ほぼ満足」で100%となっております。

続きまして、庭園文化講座参加者アンケートですが、エの講座満足度ですが、「良かった」「まあまあ良かった」合わせて94%となっております。

それから、Cの茶店利用者アンケートでございますが、こちら、イの「いのはな亭をご存知でしたか」というところで、知っている方が41%、知らなかった方が59%でした。それから、「集会所をご存じですか」という質問に対して、「知っている」が13%、「知らなかった」が85%。そしてエとして、もし集会所を利用するとすれば、どのような目的かというところで、会食、茶会、趣味、会議等の順番となっております。

③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応ですが、まず、「トイレの照明を明るくしてほしい。」というご要望に対しては、照明を明るくするように対応いたしました。それから、「従業員の対応がよい。」というご意見がありましたが、それに対しては、利用者にさらに満足していただけるよう、よりよい接客対応を心がけました。

(2) 市に寄せられた意見、苦情ですが、0件です。

続きまして、「4 指定管理者による自己評価」ですが、「集会所の利用については、昨年度より実施しているリーフレットの送付や公共施設への配布などの効果が出はじめ、指定管理期間で初めて稼働率が目標としていた50%を超えた。

自主事業については、初めて婚活イベントを実施して10組のカップルが誕生」。カップルの成立割合は7割でございました。また、「庭園文化講座」では引き続き、様々な内容で実施し、好評を得ておりました。

「公共施設等の連携事業については前年度に引き続き「いのはな山秋祭り」、「千葉城さくら祭り」「ちばミュージアムウォーク」や「駅からハイキング」などの千葉市共催事業等に積極的に参加、協力した。

施設の維持管理は概ね計画どおり実施した。

今後も施設の魅力を高め、地域等との連携を深めて、集客力の向上に努めていきます」。

以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、只今の事務局の報告に対しまして、ご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

では、私から1点。稼働率なのですが、これは分母と分子、どのようになっているのでしょうか。1日のうち少しでも使ったことがあれば、1分の1となるのか、それとも、1日のうち時間を分けて午前、午後でやっているのか。

○公園管理課職員 稼働率につきましては、分母が利用可能コマ数となっております、分子が利用コマ数となっております。

○石井部会長 利用可能コマ数というのはどのように。

○公園管理課職員 午前、午後で分けておりまして、1日2コマございます。その2コマ掛ける利用可能日数で計算しています。

○石井部会長 前年度、前々年度に比べてだんだん良くなっているという状況なのでしょう

か。

○竹本公園管理課長 利用者でしょうか。

○石井部会長 そうですね、利用者数など。

○竹本公園管理課長 利用者は、やや下がり気味ではありますが。平成23年度が4,523人あった利用者が、平成26年度が2,550人ということで、昨年も同じような数字だったのですが、従前、コスプレの利用が、今でもあるのですが、大口での利用があったので、その分利用人数が増えていた。件数的には変わらないのですが、最近、小口というか少し人数が少なくなっているというので、人数にしますと落ちている。一方、稼働率につきましては、40%台であったものが、26年度は51.7%、後ほど総合評価の資料でもご説明いたしますが、そういうことでございます。

○石井部会長 では、4ページ、「市による評価」についてのご報告をお願いいたします。

○竹本公園管理課長 「5 市による評価」ですが、評価は「A」とさせていただきます。

所見ですが、「指定管理業務については、前年度稼働率、目標稼働率を上回り、リーフレットの配布や取材協力等による地道な施設のPRに努めた結果と評価できる。また、接客対応などのサービス面もアンケートにおいて好評を得ており、良好な管理状況と認められる。自主事業については、庭園文化講座の実施、周辺公共施設との協働イベントの開催、婚活イベントの実施等、利用者促進並びに新たな利用者の確保に取り組み運営面について高く評価できる。これにより概ね事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われていたと評価する。」

履行状況の確認ですが、ご覧の13項目について確認いたしました。

概ね「2」の評価でございますが、(3)施設の効果の発揮、施設管理能力、「利用促進の方策」、「ホームページ、リーフレットの配布」は「3」とさせていただきます。これは、ホームページで予約情報を更新、イベントのお知らせ、講座や集会所を紹介した通信を発行し配布しておりました。それから取材協力、近隣施設利用者へPRを実施したことで評価してございます。

続きまして、下の「自主事業の効果的な実施」ですが、「講座、催事の開催」で庭園文化講座、いのはな山秋祭り、婚活イベントを開催しております、評価は「3」とさせていただきます。特にこちらの婚活等の取り組みにつきましては、造園業界の専門誌でも取り上げられて、公園における新たな取り組みということで注目を浴びておりましたので、そういったところも評価させていただきます。

続きまして、4ページ一番下の「収入見積の妥当性」ですが、「利用料金収入は計画通りか」というところで、前年度稼働率、目標稼働率を上回り、計画利用料金も計画比に対し114%となり増収となっていたことから、「3」という評価をさせていただきます。

以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

では、只今の事務局の報告に対しまして、委員の皆様、ご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

木下委員、どうぞ。

○木下委員 少し戻ってしまいますが、「利用者ニーズ・満足度等の把握」で3ページ、アンケート調査の結果のところですね、(1)の②の。茶店利用者アンケートのところを見ますと、「いのはな亭をご存知でしたか」、「知らなかった」が59%、「集会所をご存じですか」で「知らなかった」が85%、かなりこちらについてはいろいろなところにリーフレットを配布したりしてPR等にも力を入れていただいているのはわかるのですが、アン



ケートの結果を見ると、それでも「知らなかった」という人のほうが多いということは、このいのはな亭に来ることが目的ではなくて、それ以外の目的で来て、たまたま見つけて入られたという結果ですよ。なので、引き続きPRが必要だということになるかと思えます。

それから、お聞きしたいのは、この辺り、亥鼻の山はいろいろな施設があるわけですが、全体の地図のようなものは当然あると思うのですが、それは駅とか公共施設やホームページ等で出ているのですか。休憩する場所は当然必要ですので、お茶を飲むことが最初からわかっていれば立ち寄っていただけたらと思うのですが。いろいろな「駅からハイキング」とか「ミュージアムウォーク」ですか、これも追加事業ということではいろいろ努力していただいて良いと思うのですが、多分こういった中でも、マップの類は当然あると思うのですが、いかがですか。

○竹本公園管理課長 まず、アンケートの結果なのですが、茶店利用者アンケートは、近くに郷土博物館がありまして、そちらに茶店の割引券を置いていまして、その郷土博物館に行かれた方が、その割引券を持ってこちらに回ってきたということですので、「知らなかった」が多いというのは、そうなのかなということでございます。

それから、いのはな山全体についてなのですが、市の施設あるいは県の施設いろいろありまして、またそれぞれ所管も違う状況の中で、きれいにいのはな山周辺案内図のようなものが紙的なものであったのかどうかということは、確認しないとわかりませんが、観光地でありますし、花見の名所でもありますので、そういったものは当然必要かと思われまます。イベントにあわせた形ではつくっていると思うのですが、一般的なものとしては無いのかなと。

○木下委員 ホームページとかでダウンロードできるようになっていると、そんなにお金もかからないと思うのですけれど。

それから、割引券はその郷土博物館だけなのですか、置いてあるのは。

○公園管理課職員 割引券につきましては、郷土博物館の利用者の方に配布するのと、もう一つ、亥鼻公園集会所をご利用いただいた方にお配りしております。

○石井部会長 博物館は市の施設。

○竹本公園管理課長 そうです。教育委員会の施設です。

○石井部会長 先ほどお聞きをした、今おっしゃられたことも絡むのですが、図書館とか文化会館、あれは県の施設になるのですか。

○竹本公園管理課長 そうです。

○石井部会長 県とも連携してその辺り一帯の地図とかパンフレットとかを作るとか、あとは割引券も図書館なり文化会館なりにも置いてもらえるようにすれば多少は違うのかなということを今意見として聞いていたのですが。

○竹本公園管理課長 工夫ができるか考えてみたいと思います。

○石井部会長 大谷委員、何かございますでしょうか。

○大谷委員 この4ページの利用促進の方策が「3」になっているにもかかわらず、なかなかアンケートでは「知らなかった」という意見が多数なので、少し残念かなと。また、結構この「3」が3つついていることによって合計29になって、この施設も悪くはないのですが、どちらかという、先ほどの施設に比べて評価が少しバラバラなのではないかなと、そう見受けられました。

○石井部会長 よろしいでしょうか。

では、「市による評価」については以上で終わります。

続いて、「都市局指定管理者選定評価委員会の意見」についてですが、今までのことに

つけ加えてさらに何かありましたら、よろしくお願ひいたします。

この施設の管理運営としては、良好に行われている。ただ、引き続きPRに努めていただきたいということで、あわせて周辺の施設である県などとの連携も図ればいいのかと感じました。

木下委員、大谷委員、そういうことでよろしいでしょうか。

○木下委員 はい。

○大谷委員 はい。

○石井部会長 では、先ほどの項目ごとにいただいた意見も含めて部会の意見とさせていただきます。

最後に、資料9-4、9-5、「指定管理者財務諸表」から見る当該指定管理者の財務状況についてですが、大谷委員、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

○大谷委員 以前、この会社の過去の財務諸表を見せていただいたときに、短期貸付金ももう少し多かったものが、今回見ると減っています。私の記憶によると、過去の財務諸表に計上されていた「短期貸付金」は実体のない仮払金なのですみやかに減らすよう指摘させていただいたことを覚えています。今回それを踏まえて、恐らく努力されて減らしたということだと思います。

それから、それぞれ第28期、第29期の財務諸表の最後に注記表がついていますが、これらの注記表を比較すると、作成された担当者が変わったのかと思われるくらい全然バラバラな作成になっています。注記表の内容をもう少し吟味して作成していただければと思います。例えば注記表でかなり長い項目を作成していますが、第29期の財務諸表の注記で引当金の計上基準はないと書いてありますが、完成業務補償引当金という独特な科目を設けていながら、その説明、つまり引当金の計上基準についても何も記載がありません。しかしながら、第29期では貸借対照表に当該科目がありませんし、注記も何もありません。当該科目がなくなったことについての説明もありません。また、別の注記についても実際の会計処理と注記内容が一致していません。

借入金は長期、短期借入金が計上されていますが、恐らく長期借入金は金額が多額であることから金融機関からの借入金と推測されますが、固定資産が担保に入っているのではないかと推測しますが、注記には何も記載がありません。財務諸表を作成し、第3者に開示する場合はもう少し丁寧に作成していただければと思います。

以上です。

○石井部会長 ありがとうございます。

○竹本公園管理課長 今ご指摘いただきました部分を含めて、再度、塚原緑地研究所に確認するようにしたいと思います。結果についてはご報告させていただきたいと思います。

(確認結果)

昨年度に提出した財務諸表の様式(千葉市専用)が、パソコンが壊れた為データが消滅してしまってどのような様式で提出したのかわからなくなってしまったため、今回、新たに作成した為に28期と29期が統一されませんでした。

また、ほとんどが保証協会付きの借入である為、担保設定資産はありません。

○石井部会長 よろしくお願ひいたします。

以上で議題(4)「亥鼻公園集会所の年度評価」を終わります。

時間も長くなりましたので、ここで総合評価に入る前に若干休憩を設けたいと思います。では、一旦休憩といたします。

午後 3時39分 休憩

午後 3時50分 再開

○石井部会長 では、再開したいと思います。

議題（５）「稲毛海浜公園花の美術館（三陽メディアフラワーミュージアム）の総合評価」に入ります。

初めに、事務局からご報告をお願いいたします。

○竹本公園管理課長 それでは、資料６－６をお願いいたします。

それでは、稲毛海浜公園花の美術館の指定管理者総合評価シートについてご説明申し上げます。

「１ 基本情報」につきましては、ご覧のとおりでございます。

「２ 総合評価」ですが、（１）過年度の管理運営業務に対する評価。

１、市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理。こちらは、評価は「Ａ」とさせていただきます。

評価の理由ですが、「個人情報、行政手続、労働条件等の関係法令の遵守については、提案及び事業計画どおりの内容が履行されていた。

セルフモニタリングは、毎月実施しており、利用者からの意見等について、改善が可能なものについては早期に対応している」。

続きまして、２、市民サービスの向上ですが、こちらも評価は「Ａ」といたしました。

理由としましては、「ホームページやブログで最新の情報を随時提供しているほか、インターネットによる施設予約システムを導入するなど利用者への支援が図られている」ということでございます。

３、施設の効用の発揮、施設管理能力ですが、こちらも評価は「Ａ」でございます。

理由としましては、「施設の供用時間の延長のほか、中庭のリニューアルや各種施設修繕を積極的に行うなど、利用者サービスの向上を図っている。

植物企画展やコンサート・各種教室などの自主事業を多数企画し、各種広報媒体を活用したプロモーション活動を実施することにより、施設の利用促進を積極的に図っている」。

続きまして、４、管理経費の縮減ですが、こちらは評価「Ｂ」とさせていただきます。

理由としましては、「入館者数が減少しているため、利用料金収入は計画額を下回り、収支は赤字の状況である」ためです。

総合評価としましては「Ａ」ということで評価させていただいております。

続きまして、資料６－７をお願いいたします。

総合評価の資料についてですが、「２ 管理運営状況」の（２）利用状況をごらんください。

①利用者数ですが、上から３段目の利用者合計のところをご覧ください。平成23年度が7万1,368人、平成24年度が11万1,172人、平成25年度が9万1,881人、平成26年度が8万4,056人でした。

続きまして、稼働率でございますが、花工房の稼働率です。一番上の欄をごらんください。平成23年度が31.2%、平成24年度が43.5%、平成25年度が44%、平成26年度が37.2%でございます。

「３ 利用者意見への対応状況」につきましては、ご覧のとおりでございます。

２ページ目をお願いします。

「４ 収支状況」。

（１）過年度の収入・支出状況でございますが、表下のほうの収支の欄をごらんください。平成23年度が1,730万2,000円の黒字、平成24年度が793万6,000円の赤字、平成25年度が2,275万4,000円の赤字、平成26年度が472万9,000円の赤字、過年度の合計としまして1,811万7,000円の赤字でございます。

続きまして、(2) 管理経費の縮減に係る取組みですが、人件費の見直しや、入札による各種委託料の削減等の経費節減を行っておりました。

以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、只今の指定管理者総合評価シート案の「2 総合評価」について審議いたします。

只今の事務局の報告に対しまして、ご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

木下委員、どうぞ。

○木下委員 これを拝見しますと、震災以降、やはり立ち直れていないと、完全には。例えば収支状況ですと、26年度は大分持ち直してはいますので、努力はされたのだらうと思いますが、依然として赤字の状態が続いている。それから入場者数、利用者数もやはり震災前と比べるとかなりその水準にはまだまだといったところがあって、やはり震災の影響が大きかったのかなという気がするのですが、特にアンケート表なども拝見すると、中庭の整備が遅れたこととか、復旧が遅れたこととか、それからレストランですか、これはまだリニューアルされていないのですか。

○竹本公園管理課長 レストランですか。

○木下委員 もう始まっているのですか。

○竹本公園管理課長 始まっています。昨年度の夏に前の業者が撤退しまして、その後、新しい業者を探して、この春から再び営業を再開しております。

○木下委員 そういったハードや箱物だけではないとは思いますが、やはりこの中庭の改修は遅れてしまったのではないかという印象を私自身は持っているのですが、この辺りはやはり最大限努力して、この4月のオープンだったと、その辺りは特に問題はなかったのでしょうか。

○竹本公園管理課長 まず、利用人数のところなのですが、実は、平成23年度に、それまで200円だったところを、料金見直しで300円に1.5倍に上げておりますので、まず、その影響が一つとして出ているということかと思っております。そこでまだ前の水準まで人が来ていない。

それから、中庭につきましては、我々として取り組んだ中で、努力した中での今のスケジュールになってしまったということでございます。

○木下委員 見通しとしては、今後はどうなのですか。この平成22年度の参考として値が書かれておりますが、こういった水準にまで戻していこうと。ということは、つまり300円にアップしただけの価値、サービスの提供が無いと戻らないのかなという気もしますけれど、その辺りは、市としてはどのようにお考えでしょうか。

○竹本公園管理課長 やはりこういった施設は時間が経てば展示が陳腐化あるいはマンネリ化していくということで人が減っていってしまう。それに対しての処置として、中庭の改修は行いましたが、これですぐ22年度の状況まで盛り返せるかといったら、そこは厳しいものがある。では、どうするかというと、ハードも恐らくこれからは投資していく余力というものはあまり無いので、全く今までと違う花の美術館を目指す、コンセプトから何か違うものを目指すということをするれば、22年度の水準に近づける可能性はあるかな。ただ、花の美術館としてのこれまで果たしてきた役割もありますので、それらを踏まえた中で、どこまでイメージチェンジができるかということは今後検討していきたいと考えております。

○石井部会長 はい、どうぞ。

○大谷委員 利用者意見への対応状況を見ると、23年度に意見で出たことが、やはり24、25、26年度と、同様の意見が出てきています。担当者の方はその都度、適正に対応されていると思いますが、根本的なところがなかなか改善できていないのではないかと印象を持ちました。

それと、場所も見に行かせていただいて、かなり場所が広いので、管理しきれていない様子でした。単に花の美術館だけではなくて、せっかくコスプレ利用も高まっているので、広い施設を有効利用されてはいかがかなという感想です。

○竹本公園管理課長 花の美術館のエリアは、建物内が有料区域で、前の大花壇と後ろのパラ園的なものは無料区域ということで、そこが指定管理の区域として定められておりました。それ以外の区域は、我々が直接管理している公園の区域なのですが、もちろん花の美術館内の管理が至らない部分もあるかもしれませんが、それ以上に我々が直接管理しているところも、管理経費の削減等の事情がありまして、芝生が美しい芝生の状態でないとか、いろいろな問題を抱えていますので、花の美術館だけの責任にせず、公園全体として利用者に喜んでもらえる、利用者が増加していく方策について考えていかなければならないと思っております。

○石井部会長 利用状況についての質問なのですが、平成22年度だと有料、無料両方で12万人とありますが、それ以前はどうだったのでしょうか、もっと多かったのか、少なかったのか。

○竹本公園管理課長 総入館者数でございますが、平成8年がオープンなのですが、その時が17万2,663人です。ピークが平成15年度で、このときは20万349人という数字でございます。それから暫時少なくなりまして今に至っているといった状況です。

○石井部会長 だんだん減ってしまっているというのは、やはり一回行ったら、もう次は行かなくてもいいやとなってしまうがちだということなののでしょうか、展示物とか花とかで。

○竹本公園管理課長 まず、建物内の展示につきましては、内部の花壇のレイアウトが固定されていますので、花等に植え替えで変化を持たせたとしても、人が動く動線としては同じ動線を歩くということで、あるいは屋外の花壇にしても、季節の植え替えはしても、やはりパターンとしては大きくはそんなに変わらないので、マンネリ化というのですか、それを感じる方は増えてきてしまっていると思います。

○石井部会長 はい、どうぞ。

○木下委員 先ほど、今までとは根本的に違う花の美術館を目指したいというお話だったのですが、私もいいなと思うのですが、ただの植物園、温室ではなくて、花の美術館なのですよね、ここは。こういうところは余りないと思うのですが、美術ですから、花に関する、あるいは緑に関するアート、例えばよくあるのは、園内を使ったガーデンコンテストみたいなものとか、これも各地でありますけれど、ガーデンだと結構大がかりですけど、仮設のアレンジメントとか、緑を使った屋台とかボタニカルアートではなくてモザイカルチャーでしたか、そういう緑で作った作品ですね、そういうものを一定期間募集をかけて作ってもらって展示してとか、何かそういうイベントもあるとおもしろいのではないかなと思うのですが。

○竹本公園管理課長 先生がおっしゃったように、仮設の花壇というかコンテナガーデンコンテストをやったりしております。この花の美術館は当初、どちらかというと学術的な部分は置いておいて、見て楽しんでもらう。花の詳しいことなどは除いて、ぱっと見て、ぱっと楽しんでもらうというコンセプトが一番最初にあったと聞いております。それらの流れを汲みながら今に至っているのですが、少し中途半端なものになってきているのかもしれないので、その辺りは改善していかなければいけないのだらうと思います。

○石井部会長 はい、どうぞ。

○山下公園緑地部長 確かに平成8年からこの美術館を始めてもうかなり経つのですが、その間に震災があって補修をして、今回、中庭をリニューアルしたということなのですが、中庭はリニューアルしたけれど、その周辺は今までと大きく変わらない。よほどいい中庭であれば良いのですが、ちょうど改修をしたので、これを機に、中庭に附属する、先ほど言いました、花だけではなくて美術としての展示だとか。建物内だけだと、また来る人も限定されてしまうので、庭の中でもコンテナガーデンをやっていますけれど、なかなかコンテナガーデンに参加する方、この数年減ってしまっていて、量的に少なくなっているということもありますので、その辺りをコンテナガーデンとあわせて他の催し、特にリピーターについては、リピーターが多分2カ月か3カ月に一回ということで、年に3、4回だと思っておりますが、リピーターの方が来たときに、新しいものが何かやっているという形で、少なくとも3、4か月では催し物が展開できるような、そういうからくりとか、そういうものやっていると、今の状況だとだんだん入園者が減ってくるという状況になりますので、施設はもう変えようがないので、施設の中をどうリニューアルとか催し物をやるかというところに重点を置くような形になろうかと思っておりますけれど。その辺りは今後、その催し物についての提案とか、市からも要望という形で、指定管理者とともに進めていければと思っています。

○石井部会長 では、(2)の次期指定管理者の選定に向けての意見ということで、委員の皆さんからご意見、ご助言などございますでしょうか。

では、私の意見を述べさせていただきますが、施設の維持管理業務といったところについては、市の評価でも、総合評価「A」が全てついておりますので、それは当然今後も新しい指定管理者についてもやっていただくとして、やはり利用者数が減少している、入館者数が減少しているということが大きな問題点のようなので、その増加についてマンネリを打破する、何かそういった方策について、その次期指定管理者においては、より積極的に考えていっていただきたいなど、このように思うところです。

先ほど出ましたお二方の意見なども踏まえて部会の意見とさせていただきたいと思えます。

以上で、議題(5)「稲毛海浜公園花の美術館の総合評価」を終わります。

続きまして、議題(6)「稲毛海浜公園教養施設の総合評価」に入ります。

初めに、事務局よりご報告をお願いいたします。

○竹本公園管理課長 それでは、資料7-4をお願いいたします。稲毛海浜公園教養施設の指定管理者総合評価シートでございます。

「1 基本情報」につきましては、ご覧のとおりでございます。

「2 総合評価」でございます。

(1) 過年度の管理運営業務に対する評価。

1、市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理。評価としましては「A」。

理由でございますが、「個人情報、行政手続、労働条件等の関係法令の遵守については、提案及び事業計画どおりの内容が履行された。セルフモニタリングは、毎月実施しており、利用者からの意見等について、改善が可能なものについては早期に対応している」。

続きまして、2、市民サービスの向上ですが、こちらも評価は「A」でございます。

理由としましては、「施設の貸出については、更衣室としての利用の増加への対応や利便性の向上のため、インターネットによる施設予約システムを導入するなど利用者への支援が図られている」。

続きまして、3、施設の効用の発揮、施設管理能力ですが、こちらも評価は「A」でござ

ざいます。

「施設の供用日を拡大したほか、稲毛民間航空記念館では展示のリニューアルや記念事業を行うなど、利用者サービスの向上が図られている。コンサートや各種教室などの自主事業を多数企画し、各種広報媒体を活用したプロモーション活動を実施することにより、施設の利用促進を積極的に図っている」。

4、管理経費の縮減ですが、こちらも評価は「A」です。

理由としましては、「施設の貸出が増加したことにより、利用料金収入は計画額を上回ったが、全体的には概ね計画どおりの収支となった」。

総合評価としましては「A」でございます。

続きまして、資料7-5です。

総合評価資料でございますが、「2 管理運営状況」のうち(2)利用状況でございます。

①利用者数ですが、稲毛記念館につきましては、平成25年度が12万6,740人、平成26年度が9万8,225人です。その下の段、民間航空記念館につきましては、平成25年度が5万8,349人、平成26年度が6万1,539人、その下、海星庵につきましては、平成25年度が2,452人、平成26年度が2,329人、その下、野外音楽堂につきましては、平成25年度が5,775人、平成26年度が3,290人、合計では、平成25年度が19万3,316人、平成26年度が16万5,383人ございました。

続きまして、稼働率ですが、稲毛記念館が、平成25年度が33.6%、平成26年度が31.9%、民間航空記念館は、平成25年度が44.8%、平成26年度が5.2%、海星庵につきましては、平成25年度が33.3%、平成26年度が32.2%、野外音楽堂につきましては、平成25年度が16.1%、平成26年度が10.5%、全体としましては、平成25年度が32%、26年度が20%という結果でございます。

続きまして、「3 利用者意見への対応状況」ですが、こちらにつきましてはご覧のとおりでございます。

2ページをお願いいたします。

「4 収支状況」です。

(1) 過年度の収入・支出状況ですが、表の一番下をごらんください。収支でございますが、平成25年度が800万6,000円の黒字、平成26年度が567万9,000円の赤字、過年度合計で232万7,000円の黒字でございます。

(2) 管理経費の縮減に係る取組みですが、「入札による各種委託料の削減等の経費削減を行っている」。

以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、只今の指定管理者総合評価シート案の「2 総合評価」について審議いたします。

只今の事務局の報告に対しまして、ご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

大谷委員、どうぞ。

○大谷委員 1ページ目のところで、野外音楽堂の利用者数がかなり激減していらっしゃるの、工夫が必要なのかなと思いますが、いかがでしょうか。

○竹本公園管理課長 そうですね、これも実際音楽というかコンサートでの利用ということではなくて、これもコスプレの影響が大きいのです。

○大谷委員 実際見学させていただきましたが、当初の思惑とは別の利用になっております

ね。

- 竹本公園管理課長 そうですね、更衣室的な、控え室がありますよね、そこを更衣室として利用している。
- 大谷委員 非常にもったいないと思います。
- 竹本公園管理課長 そうですね、ステージとかその辺りについては撮影ぐらいでしか使わないという。
- 大谷委員 私の記憶によりますと場所が外のため近所から苦情が来るという話ではありませんでしたか。
- 竹本公園管理課長 風向きによるところが多いですね。海側からですと、やはりかなり住宅地側に流れますし、それから演奏者も若い方ですと、音楽性というよりも、音量を重視して、ベースの音をフルにしてしまうとか、そういうこともありますので。
- 大谷委員 とはいえ、建物を維持するだけでも、かなり多額の修繕費が今後かかってくると思うので、何らかの決断が必要になってくるのではないかと考えております。あくまで音楽演奏を主体に維持していくか、音楽堂としてよりも何か他の使い道を考えるのか、もしくは極端な話ですが、全部取り壊して修繕費がかからないようにするのか。
- 竹本公園管理課長 今、稲毛海浜公園につきましては、公共施設というか公園施設の再配置について検討しておりまして、これら野外音楽堂につきましても、それらの検討の対象になっていますので、その中で今後、位置を変えるのか、畳むのか等を含めて結論を出していきたいと考えております。
- 石井部会長 野外音楽堂についてなのですが、純粹に音楽での本来の目的での利用というものはどの程度あるのですか。
- 竹本公園管理課長 今調べます。
- 公園管理課職員 コスプレでの利用が16%、それからコンサートですとかバトントワリングの演舞が83%となっております。
- 大谷委員 そのパーセンテージというのは、利用収入に応じたものなのか、人数に応じたものなのか、どちらでしょうか。
- 竹本公園管理課長 利用件数です。
- 公園管理課職員 貸し出しの件数の内訳です。
- 大谷委員 では、それなりにコンサートは行っているということですか。
- 公園管理課職員 件数自体がそれ程多くはない状況ですので。コスプレの利用が減ってきている中でということですか。
- 竹本公園管理課長 利用目的別の利用件数を整理していないので、後ほどご報告したいと思います。
- 石井部会長 音楽堂の向きなのですが、音が住宅地側に行くような向きになってしまっているということなのですか。
- 竹本公園管理課長 いや、そういうことではなくて、住宅地側と横を向くような形です。後ろを向くのではなくて、横を向いている形です。
- 石井部会長 それを海側を向くようにすれば、音の問題はもう少し解消されるということなのですか。
- 竹本公園管理課長 屋外なので、今度は逆に風の影響がかなり、海風の影響が出ますので、それによって聞いている方、演奏している方にどういう影響があるのかということは検討したいと思います。
- 石井部会長 木下委員、どうぞ。
- 木下委員 同じく音楽堂ですが、施設の耐用年数的には、どうなのですか。大分老朽化は



しているようには見えますけれど、その辺りは、もし維持するのであれば考えなければならないですし、もし建て替えるのであれば、それに見合った時期なのかどうかというところをお聞きしたいのですが。

- 竹本公園管理課長 恐らく昭和50年代に整備されたものですから、相当傷みが入ってきているということで、デザインの的にも今のニーズに合ったものかということは疑問ですので、今のものを改修する形で残すということは少し考えづらいのかなど。もし機能を残すのであれば、位置を変えるなりしていくことになるのかなど。
- 木下委員 もう少し維持管理にお金のかからないようなデザイン、設計というものはあると思いますし、あそこの音楽堂、一番残念だなと思うことは、観客席に座った人しか見られないのですよね。最近のものはもう少しオープンにして、公園と一体的につくって、緑の中にあるステージのような形にすると大分雰囲気が変わってくると思いますし、それから夜できないというのが少しもったいないですね。夏場は公園の中のコンサートというのは夕方からやるといいと思うのですけれど。やはり向きは大事かもしれないですね。
- 山下公園緑地部長 その辺りは、今、野外音楽堂とか稲毛記念館とか公園の中にいろいろな施設があるのですが、それが全体的に老朽化しているので、建て替えなのか補修なのか、今の場所でそのままでいいのかという。スポーツ施設があったり文化施設があり、教養施設がある。海浜公園という海辺の公園という意味合いの公園の名称の割には、いろいろなものが入っているので、その辺りをどういう形で集約して、スポーツにするのか、海を強調するのか、多分海辺なので、海を強調されるような公園整備という形になろうかとは思いますが、再編の中で各施設も取りまとめていきたいということで、それがまとまった時点である程度方向性が見えてくるのかなど思っております。
- 公園管理課職員 野外音楽堂の利用件数ですが、半日での利用が3件、1日での利用が35件です。コマ数でいきますと73コマとなっております。
- 石井部会長 それは全部音楽としての利用ですか。
- 公園管理課職員 83~84%が音楽関係での利用になっています。
- 石井部会長 施設そのものについては、指定管理者でどうこうできるものではないとは思いますが、市でもいろいろとご検討いただければと思います。
- 竹本公園管理課長 それは設置者として我々が考えていかなければいけない問題ですので、きちんと取り組んでいきたいと思います。
- 石井部会長 その他、木下委員、大谷委員、何かございますでしょうか。  
では、最後に(2)次期指定管理者の選定に向けての意見ということで改めてご意見、ご助言などありませんでしょうか。  
はい、お願いします。
- 木下委員 今の状況は、4つ施設があって、それぞれバラバラなマネジメントが行われているという印象をすごく受けるのですが、できた当初はそうではなかったと思うのですが、やはりこの稲毛海浜公園の中にああいった施設が、性格はもちろん違うのですが、バラバラ散らばっているのですが、やはりあの4施設一くるみで、あるいは公園としてこういうイメージや場所をつくり出したいのだという何か大きなコンセプトがあって、その中で各施設がきちんとマネジメントされていく。大きな公園のあのエリアを、こういう特徴を持たせたいんだというような、何かそういう大きなコンセプトがあるといいかなと思うのですが。方針ですよ。
- 竹本公園管理課長 これら4施設のうち、まず当初に稲毛記念館と野外音楽堂の施設があった。その後、民間航空記念館ができて、さらに都市緑化フェアにあわせて稲毛記念館の日本庭園部分に茶室ができたというような、何回か段階的にできていまして。

○木下委員 時期も違うわけですね。

○竹本公園管理課長 そうです。全体としてのマスタープランがあった中ではないので、最初から連携を考えていた施設ではなかった。ただし、現状としてはもうありますので、それらの4つの施設、あるいは花の美術館とあわせて全体で公園の活性化につながるようなイベントですとか企画は考えていかなければならない。

今ですと、秋にみどりの協会が主催して、みどりと水辺のつどいとか、そういうフェアをやっているように、その時は協会の管理する各施設が連携して、いろいろな催し物を行っているような状況なのですが、それがその機会だけではなく、もう少し日常的というか普通の時でも何かにぎわいづくりのための仕組みができるような形で指定管理者とは今後協議していくこととしたいと思います。

○石井部会長 次期の指定管理者の選定においては、市の今後の稲毛海浜公園のリニューアルというか見直し、そこも踏まえて、この4施設だけではなくて、花の美術館などとの一体的な利用、そういったことも念頭に置いた上での維持管理、それからPR、そういったことも検討していただきたいと思います。

以上でよろしいでしょうか。

○大谷委員 はい。

○木下委員 はい。

○石井部会長 議題（6）稲毛海浜公園教養施設の総合評価をこれで終わりたいと思います。続きまして、議題（7）都市緑化植物園みどりの相談所の総合評価に入ります。事務局からご報告をお願いいたします。

○竹本公園管理課長 それでは、資料8-4をお願いいたします。都市緑化植物園みどりの相談所の指定管理者総合評価シートでございます。

「1 基本情報」ですが、ご覧のとおりでございます。

「2、総合評価」ですが、（1）過年度の管理運営業務に対する評価。

1、市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理、これにつきましては評価は「A」とさせていただきます。

理由でございますが、「個人情報、行政手続、労働条件等の関係法令の遵守については、提案及び事業計画どおりの内容が履行されていた。セルフモニタリングは、毎月実施しており、利用者からの意見等について、改善が可能なものについては早期に対応している」。

2、市民サービスの向上ですが、こちらも評価は「A」でございます。

理由でございますが、「ホームページやブログで最新の情報を提供しているほか、園内のみどころマップを随時更新するなど利用者への支援が図られている」。

続きまして、3、施設の効用の発揮、施設管理能力ですが、こちらも評価は「A」。

「バラの植え替えや花壇作りのほか、園路整備や各種施設修繕を適宜行うなど、利用者サービスの向上を図っている。各種講座や展示会などの自主事業を多数企画し、各種広報媒体を活用したプロモーション活動を実施することにより、施設の利用促進を積極的に図っている」。

次に、4、管理経費の縮減ですが、こちらも評価は「A」。

理由は、「利用料金収入は概ね計画どおりであった。主に自主財源を充てている自主事業においては見積の妥当性に課題が見られるが、全体的には概ね計画どおりの収支となった」。

総合評価でございますが、「A」といたしました。

続きまして、資料8-5をお願いいたします。

総合評価の資料ですが、「2 管理運営状況」の（2）利用状況をご覧ください。

①利用者数ですが、講習室の利用者数ですが、平成23年度が6,745人、平成24年度が6,616人、平成25年度が7,103人、平成26年度が9,205人でした。

続きまして、②稼働率です。一番上の欄ですが、平成23年度が36.6%、平成24年度が37.1%、平成25年度が43.8%、平成26年度が42.4%でした。

「3 利用者意見への対応状況」は、ご覧のとおりでございます。

続きまして、2ページ目をお願いいたします。

「4 収支状況」。

(1) 過年度の収入・支出状況ですが、表の一番下をご覧ください。収支の欄でございますが、平成23年度が151万円の黒字、平成24年度が345万1,000円の黒字、平成25年度が225万円の赤字、平成26年度が102万1,000円の黒字、過年度合計が373万2,000円の黒字でした。

(2) 管理経費の縮減に係る取組みですが、「人件費の見直しや、入札による各種委託料の削減等の経費節減を行っている」。

以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、只今の指定管理者総合評価シート案の「2 総合評価」について審議いたします。

只今の事務局の報告に対しまして、ご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

木下委員、お願いします。

○木下委員 ここは公募型でしたでしょうか。

○竹本公園管理課長 いえ、非公募です。

○木下委員 非公募ですね。公募はどこどこでしたか。

○竹本公園管理課長 公募は、次の亥鼻です。

○木下委員 のみですか。

○竹本公園管理課長 はい。

○木下委員 では、大丈夫か。ここは先ほど来議論がございますように、ボランティア団体と良好な関係が築かれてきているということですので、もし指定管理者が万が一かわった場合に、そういった関係が維持できるのかどうか。これは、次の亥鼻公園集会所に関する話ですね、そうしますと。

○竹本公園管理課長 この都市緑化植物園につきましては、次年度からの指定管理者を公募することとして、今手続を進めておるところでございます。

○木下委員 そうすると、尚更ですね。もしかかわってしまった場合に、そういった長年の付き合いの中で築かれてきたもの、良いサービスは継続していかなければいけないと思いますが、その辺りは大丈夫でしょうか。

○竹本公園管理課長 はい。その辺りは我々も募集要項ですとか管理運営の基準の中で、きちんとボランティア団体との連携につきましては明記していきたいと考えておりますし、また、決まった後も十分指導していきたいと考えております。

○石井部会長 次回から公募になるというのは、何か理由があるのでしょうか。

○竹本公園管理課長 市の外郭団体の業務の見直しの中で、みどりの協会が今管理している都市緑化植物園につきましては、次回平成28年4月1日からの指定管理については公募するという方針が決定されておまして、それに基づくものでございます。みどりの協会の管理に問題があるとか、そういうことではございません。より良い提案を広く求めていくということでございます。

- 石井部会長 もう一回みどりの協会が出るということもあるのでしょうか。
- 竹本公園管理課長 公募する場合は、外郭団体は手を挙げられないというルールがございますので。
- 木下委員 ボランティアに限らず指定管理者が切り替わってしまったときに、良いサービスというものをいかに継続していくかは、この指定管理者制度の結構難しい点だと思うのですが、そこは市がきちんと導いていかなければならないと思うのですが、そこはぜひしっかりとお願いしたいと思います。
- 竹本公園管理課長 はい、そこはきちんと取り組んでいきたいと思います。
- 石井部会長 引き継ぎというところで、蘇我スポーツ公園はもう今かわったのでしょうかね。
- 竹本公園管理課長 はい、かわりました。
- 石井部会長 かわって2カ月ぐらい経って、何か問題点だとかは聞いたりはしているのでしょうか。
- 竹本公園管理課長 その管理運営上の問題点というものはないのですが。
- 石井部会長 引き継ぎ等に関してということ。
- 竹本公園管理課長 そういうことの問題としては、多少のことは、引き継ぎから漏れていた部分とかそういうことはありますので、その辺りは後から問い合わせるとか、前の方の指導を受けるとかそういう部分はあるんですけど、ひとつイベントをやる時に、ワゴンですとか売店を出す事業者さんが、指定管理者が募集するような形であったのですが、そういったものについては必ずしも前の方たちが全部来ているわけではなくて、やはり様相が多少変わっていると、そういうことはありますけれど、それによって苦情が増えているとかそういうことではないです。
- 石井部会長 そのときの引き継ぎ等の経験を踏まえて、次回こちらでやるときに生かしていただければと思うところです。
- 竹本公園管理課長 はい、わかりました。
- 石井部会長 では、(2)の次期指定管理者の選定に向けての意見という部分になりますけれど、今のお話、ご意見に加えてさらに何か、両委員、ありますでしょうか。
- やはり次期は公募になるということで、必ず指定管理者がかわるということですので、これまでの良いサービスをどうやって継続してもらうか、それとボランティア団体との関係、良好な関係を築けているようですので、その継続についても十分配慮して、次期指定管理者の選定をしていただきたいと思います。
- 竹本公園管理課長 はい、わかりました。
- 石井部会長 以上、部会の意見とさせていただきます。
- 以上で、議題(7)「都市緑化植物園みどりの相談所の総合評価」を終わります。
- 最後に、議題(8)「亥鼻公園集会所の総合評価」に入ります。
- 初めに、事務局よりご報告をお願いいたします。
- 竹本公園管理課長 それでは、資料9-6をお願いいたします。亥鼻公園集会所の指定管理者総合評価シートでございます。
- 内容のご説明ですが、「1 基本情報」につきましては、ご覧のとおりでございます。
- 「2 総合評価」ですが、(1)過年度の管理運営業務に対する評価。
- 1、市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理、これについては評価は「A」です。
- 理由としましては、「個人情報の管理については、鍵のかかる書庫で適正に保管されている。また、個人情報に関する基本方針及び個人情報保護規程を整備するなど、関係法令を遵守している。行政手続についても、運営維持管理マニュアルに明記し、施設に備え付けている。モニタリングを毎月実施し、利用者からの意見等について、改善が可能なもの

については早期に実施している」。

続きまして、2、市民サービスの向上、こちらも評価は「A」でございます。

理由としましては、「茶道具や机等の備品を無料で貸し出すほか、利用者のニーズに合わせて、周辺の写真スポット案内などきめ細やかな利用者サービスに努めている」。

3、施設の効用の発揮、施設管理能力ですが、こちらのほうは評価を「S」とさせていただきます。

理由としましては、「ホームページで予約状況やイベント情報を更新するほか、講座や集会所を紹介した通信を配布し、利用促進を図っている。また、清掃や施設修繕など施設の維持管理を適切に実施している。自主事業については、茶店で飲食物を提供するほか、講座やいのはな山秋祭りなどの催事を実施し、周辺公共施設との交流や地域の賑わい創出に寄与している」。

続きまして、4、管理経費の縮減ですが、こちらは評価は「A」でございます。

「施設の貸し出しが増加したことにより、利用料金収入は計画額を上回った。主に自主財源を充てている自主事業においては、初期の見積の妥当性に課題が見られるが、全体的には概ね計画どおりの収支となった」。

総合評価としましては「A」でございます。

続きまして、資料9-7をご覧ください。総合評価資料でございます。

「2 管理運営状況」。

(2) 利用状況をご覧ください。

①利用者数ですが、平成23年度が4,523人、平成24年度が2,871人、平成25年度が2,443人、平成26年度が2,550人でした。

②稼働率ですが、平成23年度が48.9%、平成24年度が49%、平成25年度が46.9%、平成26年度が51.7%。

「3 利用者意見への対応状況」は、ご覧のとおりです。

2ページ目をお願いします。

「4 収支状況」。

(1) 過年度の収入・支出状況です。

表の一番下をご覧ください。収支ですが、平成23年度が14万7,000円の黒字、平成24年度が20万6,000円の黒字、平成25年度が30万6,000円の黒字、平成26年度が32万6,000円の黒字、過年度合計が98万5,000円の黒字です。

3ページ目をごらんください。

(2) 管理経費の縮減に係る取組みです。

「教育研究費、事務管理費の縮減のほか、保安警備及び施設修繕の契約金額の削減等により経費削減を図っている」。

以上でございます。

○石井部会長 それでは、只今の指定管理者総合評価シート案の「2 総合評価」について審議いたします。

事務局のご報告に対しまして、ご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

木下委員。

○木下委員 先ほどと同じ質問ですが、やはりここは民間の企業が指定管理をされていて、婚活イベントですか、ああいった非常におもしろいとかユニークな取り組みをされていて、さすがだなと思うのですが、一方で、やはりここはボランティアさんとかのイベントの運営等に関してかなり塚原さんの個人的なご関係でご協力されているところも多いと思うのですが、これが指定管理者が切り替わってしまったときに、こういった庭園文化講

座ですか、こういったものがどうなっていくのかということは、人気があるのであれば続けるべきですし、問題があれば変えていかなければならないわけですけど、この辺りは市ではどのような見直しをお持ちなのか、かわってしまった場合ですけど。

- 竹本公園管理課長 庭園文化講座は、好評ではあるのですが、それを次の募集の要件と考えることはしない。なぜならば、それ以上にすばらしい提案も出てくる可能性がありますので、その辺りは我々として規制をかけない中で、提案いただいたものの中で総合的に一番良いところを設定していただければと思っております。

庭園文化講座につきましても、ずっと長く続くという形ではなくて、指定管理期間あるいは単年度で一つの区切りがつくような開催のされ方をしていますので、その辺りで、今参加されている方にご迷惑をかけるということはないと考えております。

- 木下委員 ここは特に緊密な関係のあるボランティア団体など無かったですでしょうか。
- 竹本公園管理課長 ボランティア団体というのは、塚原緑地研究所の代表者の方との個人的なお付き合いで人を呼んでくるということはあるかと思えます。
- 公園管理課職員 補足いたします。いのはな倶楽部というものがございまして、庭園文化講座に参加された方に、ご希望の方は入っていただく形にはなっているのですが、秋祭り等、お手伝いをお願いするケースもございしますが、基本的にはほとんどボランティアという形で大きな活動をしているものではございませんでして、指定管理者で実施しているのが実情になります。
- 石井部会長 次期の公募の際には、これまでこのような自主事業等をやっていたよということは参考の情報として提供されるのでしょうか。それとも、特段そういったものは流さないのでしょうか。
- 竹本公園管理課長 希望があればお示しすることはありますけれど、積極的に今行われている事業はこうであるということを出してはいないです。
- 大谷委員 それは、前任者に縛られないアイデアを出してもらいたいという意図で。
- 竹本公園管理課長 前任者に縛られないということもあるかとは思いますが、正確なところは。ただ、今までお示ししてはいないということです。
- 山下公園緑地部長 新しいところは、初めにやる時は一切それもないので、2回目、3回目となったときは、当然、緑化植物園のようにボランティアとかなり密になって進めているということが出来てくると、当然それについては何らかの形ではお示しするだけで、こうですよ、こうしなさいよとは言えない。ただ、応募されている方は、当然、自分がこれを引き継ぐわけだから、その内容を十分把握した上で、より良い提案を出してくれるという考えで私どもはいますので、全く今の現状を無視して新しい提案を出してくるということだと、引き継ぎがうまくいかない。ですから、その辺りがある程度確認できるような条件というか、私どもで確認できるような項目立てにして上げていただければ一番ベストかなとは思いますが、その辺りは今後詳細には詰めていきたいというところです。
- 竹本公園管理課長 よく手を挙げることを希望する方から、前の提案を見せてくれとか、そういうお問い合わせはありますし、それに対してはきちんとお示ししています。
- 木下委員 当然応募する側からすれば、自分で調べますよね。そういうこと無しで応募はされないと思いますし、仮に下調べしないで応募して、提案内容が従来のサービスよりも低下するようであれば、それはまたこの選定評価の段階でチェックできると思いますし、要望があったら提供するという形でいいのではないかと思いますけれど。
- 石井部会長 現在の指定管理者の塚原緑地研究所さんは、また次期も手を挙げそうな感じなのではないでしょうか。
- 竹本公園管理課長 意向はあるように伺っております。

- 大谷委員 これを見せていただいたところ、収支は必ず取れている、利益は必ず出す。そのためには、利用者が少なかったら、経費削減しかないわけですね。
- 竹本公園管理課長 はい。
- 大谷委員 経費削減を徹底的に、そこに集中して努力をされて、なおかつ、なるべく売り上げを上げたいためにいろいろPRして努力をされているというように、これは本当に他の公益法人も、いわゆる民間等一般企業の良いところを見直すというか見習わなければいけないところだと思います。
- 石井部会長 では、次期指定管理者の選定に向けての意見というということで、今まで出ましたものに加えて何かございますでしょうか。
- この施設についても適切な、良好な維持管理等がされていると思われまますので、次期についても、これまでのものを踏まえて、より良いもの、それから、もし別のところになるとすればですけど、引き継ぎについて十分配慮していただいて、利用者の利便性が損なわれないように配慮いただければと思います。
- 竹本公園管理課長 はい、しっかりそのとおりにしたいと思います。
- 石井部会長 以上でよろしいでしょうか。
- では、以上で議題（８）「亥鼻公園集会所の総合評価」を終わります。
- 本日の議事は全て終了いたしましたので、これをもちまして、平成27年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会公園部会を閉会いたします。
- 事務局にお返しいたします。
- 山下公園緑地部長 本日は、長時間にわたり慎重なご審議、ありがとうございました。今後の施設の管理運営につきましては、頂戴いたしましたご意見を踏まえ、より適正に実施して参りたいと思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。
- 委員の皆様、本日は誠にありがとうございました。
- 竹本公園管理課長 ありがとうございました。
- 村上都市総務課長補佐 お疲れ様でした。
- 以上をもちまして閉会いたします。